

タレル、出レバ打タレルト云フヤウナ
氣持デ、非常ニ生計欲ガ向上シテ來ナ
イ、是ガ百姓ヲ致シテ居ル者ニ樂ミ
ナイ、所謂働キノナイヤウナ氣分ヲ持
セルコトニナルト考ヘルノデアリマ
ス、大難把ニ擱ミマシテ、我が國ノ國
土ハ六百萬町歩アル、此ノ六百萬町歩
土地カラ一反歩平均二俵、八斗ノ米ヲ
出サス、サウシマスレバ四千八百萬石
ト云フモノハ、茲ニ大擱ミニ出來ル、固
ヨリ水田ノ少イ乾田地方モアリマス
カラ、此ノ四千八百萬石ハ米トシテ見
ルノデアリマスガ、其ノ半分ハ或ハ難
穀ニ依ツテ、大麥、裸麥、豆類或ハ甘
藷、馬鈴薯ニ依ツテ供出スルコト云フ
トニシテ、米ニ換算シテ兎ニ角四千八
百萬石ト云フモノハソコニ擱ミ得ラレ
ル、之ヲ擱ムノハ何デモナイ、豊凶ト
云フコトヲ考ヘズ、作柄ト云フコトヲ
考ヘズニ、一反歩々々今マデ年貢
ト云フモノガソレム、アツタコトハ御
承知ノ通りデアル、此ノ年貢ガ今ハ物
納カラ金納ニサレテ、生産者ハ現物ヲ
地主ニ出サナクテモ宜イ、斯ウ云フ
コトニナルノデアリマスカラ、此ノ一
反歩平均二俵ト云フ此ノモノヲ、自分
ノ田ヲ自分ガ作ラウガ、人ノ田ノ小作
シヤウガ、サウ云フコトハ別トシテ、
此ノ田ニハ是ダケノ義務供出スベキ米
ガアルト云フコトニ決メテシマフ、サ
ウスレバ極端ナル風水害、天災等ヲ被
レバ別デアリマスケレドモ、サウデハ
イ以上ハ、毎年々々一反歩二俵平均
四千八百萬石ノ米トシテ考ヘルハベキ
モノハ政府ヘ供出サレル、斯ウ云フコ
トニナル、サウスレバ安心シテ政府ハ
此ノ基礎ヲ以テ配給ノ計畫ヲ立テル、
ドウシテモ足ラヌダケハ何トシテモ見
返リ物資ヲ生産シテ、海外カラ輸入シ

テ貰フ、斯ウ云フ風ニスレバ、私ハ食
糧問題ハ簡單ニ解決スルノデヤナイカ
ト考ヘル、サウシマス百姓ヲ致シテ
居リマス、例ヘバ三人ノ家族ガ一生
縣命ニナツテ、一町五反ノ田ヲ耕作シ
テ、茲ニ五百五十俵ノ米ヲ獲ツタ、ケレ
ドモ一町五反ニ對シテ所謂義務供出量
ト云フモノハ、一反平均二俵トシマス
ルト、アトノ百二十俵ト云フモノハ、
其ノ耕作者三人ノ一家ニ於ケル自由ニ
ナルベキ所ノ米トナル、其ノ米ノ中、自
分達ノ食糧トスベキモノハ殘シ、サウ
シテ餘ツタモノハ之ヲ自由ニ販賣サ
ス、所謂供出米ト云フモノト、生産者
ガ自由ニ賣ルコト云フモノト二段ニナリ
マスケレドモ、サウスレバ氣張ツテ働
ケバ働ケ程自分ノ自由ニシ得ル所ノ食
糧ガ出來テ來ルカラ、茲ニ農事生産ニ
樂シミガアル、今ノ供出制度デアリマ
ス、オ前ノ田ハ良ク出來タカラ一反
上俵アル管ダ、サウスレバ一町五反デハ
百何十俵獲レル、オ前ノ所ハ三人家族
レダカラアトハ全部供出シケレバナラ
ヌ、其ノ家族ノ人数ニ依ツテ保有ヲ許
スト云フコトニナリマス、働イテ餘
計獲レバ獲ル程スツカリ出シテシマ
フ、一方情農ガアツテ、家族ガ多イ場
合ハ、自分ノ所ハ田ヲ作ツタガ御覽ノ
通り出來ガ悪い、是ダケシカ獲レマセ
スカラ、私ノ家族ノ食ベシカ引クト
是ダケシカ出セマセスト言ツテ、自家
保有米ヲ引イテ僅シカ供出シナイ、
斯ウ云フ極端ナ者ヲ見マス、氣張ツ
テ働ケバ働ケ程餘計供出デ取ラレシマ
フ、斯ウ云フ氣持ガ、今回ノ生計欲
ヲ非常ニ阻止シ、又供出ノ隘路トナツ
テ居ルヤウニ私ハ考ヘル、デスカラ私

ノ先程申シマシタヤウニ、一反平均八
俵ナラ八俵ト云フモノヲ基準トシテ、
是ハ義務的ニ供出スルノダト云フコト
ニシマス、裏作モヤル、間作モヤル、
幾ラデモ餘計働イテ此ノ土地ノ生産力
ヲ上デテ行ク、斯ウ云フヤウニナツテ
來ルト思フ、オ前ノ所ハ馬鈴薯ヲ一畝
作ツタカラ二畝目出セ、オ前ノ所ハ麥
ヲ作ツタ、此ノ成績ナラ是ダケ出セ、
昔ノヤウナ檢見ヤツテ立會審査ヲヤ
ツテ、取上デテ行クト、洵ニ樂シミガナ
イ、斯様ニ考ヘルノデスカ、政府モ作
付ノ結果見テカラノ割當ハ到底出來
ナイシ、早期割當ヲスレバ實績ト合ハ
ナイシ、又之ヲ修正シナケレバナラ
ヌ、ドウシテモソコニ無理ガアリ、所
謂實際ニビツタリ合ハス政策ヲ執ラ
ケレバナラス、私ノ申上デマシタヤウ
ニシマスレバ、年々安心シテ或ル量ノ
食糧ガ確保サレル、斯様ニ考ヘルノ
アリマスガ、政府當局ハドウ御考ヘニ
ナリマス

○補見政府委員 供出ノ問題ト農家ノ
生産意欲ノ問題ニ付テノ只今ノ御話デ
アリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテ
ハ、同時ニ供出ト生産意欲ノ問題、或
ニ割當ノ是正、公平ノ問題、斯ウ云フ
問題ヲ綜合的ニ考ヘマシテ、從來色々
各方面カラモ御意見ガアリ、又建設的
ノ御意見等モアツタノデアリマス、實
ハ政府ニ於キマシテ御承知ノヤウ
ニ、食糧對策會議會ヲ設ケマシテ、特
ニ此ノ供出ノ問題ニ付テ御審議ヲ煩ハ
シテ居ツタノデアリマス、只今森サ
ンカラ御話ニナリマシタヤウナ意向ノ點
ニ付テモ、種々議論ガ交サレテ居リマ
ス、問題ハ、割當ト云フモノヲ土地ニ
ドノ程度結付ケルカト云フコトガ一ツ
ト、モウ一ツハソレニ依ツテアトノ、

例ヘバ只今御話ニナリマシタヤウニ百
五十俵ナラ百五十俵獲レル人ガ三十俵
デ足リル、残りノ百二十俵ヲドウ云フ
風ニシテ行クカト云フ、此ノ二ツノ問
題ガ中心デゴザイマス、併シ一面ニ於
キマシテハ事柄ヲ簡明ニ致シマスル爲
ニ、土地ト結付ケタ所謂反別割、只今
ノ森サノ御言葉デ言ヘバ、從來ハ小
作料ヲ物納デ拂ツテ居ツタノデア
ル、之ヲ地主ニ拂フ代リニ國家ニ供出
スル、斯ウ云フヤウナコトデ變形シテ
之ヲ國ノ所要量トシテ取ツテハドウ
カ、斯ウ云フコトモ實ハ今申シマシ
タノデアリマス、一面從來ノ割當ニ於
テ、所謂反別割トシテノ弊害ガ起リ、
又割當ノ不正ト申シマスガ、斯ウ云
フヤウナコトデ問題ノ對象ニナツタ
トモ御承知ノ通りデアリマス、ソコデ
兩方ノ觀點カラ此ノ問題ヲ突合セテ、
而モ生産意欲ヲ損ジナイヤウナ風ニ、
寧ろ出來得レバ生産意欲ヲ昂揚スル方
ニ持ツテ行ツタラドウカ、煎ジ詰メテ
申シマス、一部ハ土地ニ結付ケ、他
ノ一部ハ農家ノ供出能力、家族構成其
ノ他ヲ見マシテ、ソレニ應ジテ供出
ヲヤツテ行ク、其ノ場合ニ、作レバ作
ルダケ取ラレルト云フモノヲ、ドウ云フ
方法デ以テ生産意欲ヲ損セズ、又場合
ニ依ツテハソレヲ寧ろ品揚スル觀點カ
ラ取扱ツテ行クカト云フコトガ、現在
最モ難カシイ問題ニナツテ居ルノデア
リマス、マダ結論ヲ得テ居ラナイノデ
アリマスガ、併シ少クとも此ノ場合ニ
於テ、現在ノヤウニ食糧事情ガ窮迫ヲ
シテ居リ、又二合一勻デハ到底不十分
デアル、出來得レバ之ヲ二合三勻ニ復
元シタイ、併シソレハ絕對數量ガ足
リナイ、斯ウ云フヤウナ食糧事情ノ下
ニ於キマシテ、之ヲ自由販賣ニサセ
タ場合ニ一體ドウ云フ結果ガ起ラ
ウカ、又ドウ云フ方面ニ此ノ米ガ流
ルデアラウカ、又總テノ經濟ノ苦シ
ミガ食糧デアリ、特ニ其ノ中心ガ米デア
ル譯デアリマスカラ、之ヲ自由販賣ニ
致シマシタ場合ノ影響ト云フヤウナコ
トヲ考ヘマス、此ノ自由販賣ト云フ
問題ハサウ簡單ニハ參ラナイノデハナ
イカト思フノデアリマス、結局ハ正當
ノ「ルート」ニ乗セテ、ソシテ公平ニ一
般ニ配給ヲシテ行ク、唯其ノ場合正當
ノ「ルート」ニ乗セル場合ニ於キマシテ
モ、生産者ニ報イレル途ヲ講ゼナケレバ
ナラヌ譯デアリマス、此ノコトガ生産
意欲ノ向上ト、極メテ密接不可離ノ關
係ガアル譯デアリマス、此ノ點ニ付テ
政府ト致シマシテモ十分考慮シナケレ
バナラヌト考ヘテ居ル譯デアリマス
ガ、斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ居
マス

○森(幸)委員 私ハ政府當局ニ十分ノ
御研究ヲ煩ハシタイ、我々色々此ノ供
出問題ニ付キマシテ研究致シマシタケ
レドモ、ソレヨリ外途ガナイト云フコト
ニ、我々ハ結論付ケテ居ルノデアリマ
ス、此ノ自由販賣ニ對シテハ、其ノ米
ガ何處ヘ行クト云フ御心配ガアルヤウ
デアリマスガ、一面我々日本ノ經濟ノ
推移ヲ今考ヘマスルト、容易ニ豫測ヲ
許サレナイヤウナ危機ニ突入スルノデ
ハナイカト思ハレルノデアリマシテ、
昔ノヤウナ金ガダブ付イテ、自由販賣
ヲスレバ、幾ラデモ物ガ高ク其ノ力ニ
依ツテ買集メラレルト云フヤウナ經濟
情勢ハ、恐ラクコ、暫クハ出來ナイノ
デハナイカト云フコトモ考ヘラレマ
ス、明日ヲ測ルコトノ出來ナイ日本ノ
經濟情勢デモアリマスカラ、私ハ結局

政府ガ安心シテ或ル一定量ヲ確保スル
ト云フコトハ、此ノ途ヨリ外ナイ、斯
様ニ考ヘルノデアリマスガ、ドウカ一
ツ政府當局ニ於カレマシテモ、十分慮
心坦懐ニ研究シテ戴キタイコトヲ希
望スル次第デアリマス

ソレカラ今忽チ農村トシテ心配致シ
テ居ルノハ、米價ノ前途デアリマス、
是ハ相當モウ既ニ植付モ終ツテ居ルヤ
ウナ時デアリマスシ、農村ノ人トシテ
ハ、今年ノ米ガ一體幾ラ賣レルノダト
云フコトヲ非常ニ考ヘテ居リマス、外
ノモノハドン／＼上ツテ行クシ、馬鈴
薯或ハ大麥ノ値段ハ幾表サレマシタケ
レドモ、到底生産者ノ満足スルヤウナ
價格ニナツテ居リマセヌ、米價ニ對シ
テモ非常ニ前途不安ニ思ツテ居ルノデ
アリマスルカラ、政府ハ早キ時期ニ於
テ成ベク速カニ、本年ノ米ハ斯ウ云フ
風ナコトニ依ツテ決メ、又米ヲ決メ
ルニ付テハ他ノ物資トスウ云フ風ナ鈞
合決定メノダト云フコトヲ發表シテ
戴キタイコトヲ希望シテ置ク譯デアリ
マス

次ノ御尋ネデアリマスルガ、七月ガ
本年ノ肥料ノ末期ニナツテ居リマス
ガ、肥料ノ必要量ガ決定サレマシタヤ
ウニ生産者出來タデアラウカドウカ、
是モ何時モ空手形ニナリマシテ三十萬
「トン」拵ヘル、四十萬「トン」拵ヘルト預
定ハサレマシテモ、實際ニハソレガ出
來ナイ、又ソレガ出來マシテモ生産者
ノ農家ノ手許へ配給サレコトガ遅レ
ル、今年ハ轉方ニ、政府ノ御努力ニ依
ツテ生産者ノ手許ニ早ク廻ツテ居リマ
スガ、七月中ニ於テ豫定通りノ肥料ガ
生産サレマシタカドウカ、又生産サレ
ル見込シガ付イテ居ルカ、此ノ豫定ダ
此ノ計畫ダト云フダケデハ、生産者ハ

安心出來マセヌ、確カニ是ダケハ盡リ
得ルト云フコトヲ一ツ御聽カセテ願ヒ
タイノデアリマス、殊ニ長ノ間戰爭デ、
我々ハ希望シテ居リナガラ、手ニ入
レルコトガ出來ナカッタ過燐酸石灰ニ
付キマシテ、原礦石ニ對シテモ、關係
方面ノ配慮ニ依ツテ入手ノ途ガ開ケタ
ヤウデアリマスルガ、日本ノ土地ト致
シマシテハ、土質ノ關係カラ申シマシ
テモ、過燐酸石灰ト云フモノハ非常ニ
收量ノ高メルニ上テ必要ナ肥料デア
リマシテ、今マデ過燐酸石灰ガナイ爲
ニ、ドレダケ生産力ヲ減ジテ居ツタカ
ト云フコトモ想像サレルノデアリマス
ガ、過燐酸石灰ヲドウ云フ程度ニ本年
度ハ確實ナル生産者出來ル御見込シガ
アルカ、併セテ御尋ネ致シタイと思
ヒマス

○補見政府委員 供出ノ問題並ニ米價
ノ問題ニ付テハ御希望ノ點ハ、私共モ
全ク同様ノ考ヘヲ持ツテ居ルノデアリ
マス、特ニ供出問題ニ付キマシテハ、
能ク各方面ノ御意向モ伺ツテ、適當ナ
所ニ落著ケテ參リタイト考ヘテ居リマ
ス、又米價ノ問題ニ付キマシテモ、一
般ノ農民ノ聲ヲ我々ト致シマシテハ能
ク承知ヲ致シテ居ルノデアリマス、此
ノ問題ハ寧ろ米價ガ凡ユル物ノ中心デ
アリマスルカラ、出來得レバ私共ト致
シマシテハ、他ノ物ヲ抑ヘテモ、米價
ヲ中心ニシテヤツテ行キタイト云フコ
トデ、色々サウ云フ方面ニ努力モ致シ
テ居リマスガ、今日ノ經濟事情、物價
事情ノ本ニ於キマシテハ、ドウシテモ
此ノ問題ハ考慮シナケレバナラヌモノ
ト考ヘテ居ルノデアリマス、唯一般ノ
物價體系ノ下ニ於テ、之ヲドウ云フ風
ニ取扱ツテ行カト云フコトハ、極メ
テ重大ナ問題デアリマスノデ、慎重ニ

考慮致シテ居ル次第デアリマスガ、今
御希望ノゴザイマシタヤウニ、出來得
ル限り早く此ノ問題ハ解決ヲ致シタイ
ト存ジテ居ルノデアリマス
ソレカラ御尋ネノ肥料ノ問題デアリ
マスガ、七月ニ付キマシテハマダ分ラ
ナイノデアリマス、從來ノ肥料狀況ハ
一應計畫ヲ立テテ參リマシタガ、結局
色々ノ資材關係、特ニ石灰ノ關係其ノ
他ノ關係デ、大體一ト月位計畫ガズレ
テ居ルヤウデアリマス、即チ例ヘバ四
月、五月、六月ト云フ風ニ、漸次逐月
復舊モ進捗致シマシテ、生産量モ漸エ
テ參ル、斯ウ云フコトデ參ツテ居リマ
シタガ、大體一ト月位遅レテ、此ノ計
畫ニ近イ數字ガ出テ居ルヤウデアリマ
ス、中ニハマダ豫定通りノ復舊ノ出來
テ居ラナイ所モアリマスガ、併シ肥料
工場ノ中ニハ、未ダ曾テナイ生産量ヲ
算デテ居ルヤウナ所モアルノデアリマ
ス、例ヘバ富山ノ速星ノ工場ノ如キ
ハ、未ダ曾テ算デテ居ラナイ成績ヲ四
月ハ算デタ、斯ウ云フヤウナコトデア
リマシテ、逐次肥料工場ハ立直リヲ致
シテ居ルヤウナ情勢デアリマス、隨テ
今後はモ御承知ノヤウニ、石灰「コー
クス」斯ウ云フモノハ起重點ノ肥料
ニ廻シテ居ルノデアリマスカラ、一般
ノ肥料工場ノ生産意欲ノ向上、又政府
側ニ於キマスル之ニ對スル指導監督ト
云フコトニ依リマシテ、此ノ増産ハ逐
次期待出來得ルモノト考ヘテ居ルノデ
アリマス、特ニ各肥料工場ニ於キマシ
テ工場毎ニ復舊計畫、又生産計畫ト云
フモノヲ、從來ノヤウナ天降リノナ、
又「バー」フラン「計畫」デハナクシ
テ、具體的ニ工場ニ就イテ生産計畫ヲ
立テテ、之ニ對シテ各方面カラ協力
シ、又推進ヲシテ行クト云フ方法ニナ

ツテ居ルヤウナ情勢デアリマス、ソレ
カラ過燐酸肥料ノ御話デアリマスガ、
是ハ今御話ニナリマシタヤウニ、聯合
軍トシマシテモ食糧ト肥料ハ全ク同一
ノ重要性ヲ以テ、例ヘバ「アメリカ」ニ
アリマスル合同食糧委員會ト云フモノ
ハ、是ハ食糧ノ割當ニ關スル委員會デ
アリマスガ、此ノ委員會ニ於キマシテ
モ、特ニ日本ニ對スル肥料ノ問題ニ付
テハ、全ク食糧ト同等ノ關心ヲ持ツテ
色々努力ヲシテ居ルノデアリマス、
隨テ過燐酸石灰ニ付キマシテモ、從來
ノ「ラサ」大東島ト云フヤウナ所ダケ
ナク、或ハ佛印或ハ「アフリカ」其ノ他
ノ各方面カラノ輸入ニ付キマシテモ、
色々政府トシテハ考慮ヲシテ戴イテ居
ルヤウデアリマス、具體的ニ今後ドレ
ダケノ數量ガ入ツテ來ルカト云フコト
ハ申上ゲラレマセヌガ、併シ根本ノ考
ヘトシテハ今申シマスヤウニ、肥料ト
食糧ハ同等デアルト云フコトカラ致シ
マシテ、隨分努力ヲシテ居ルヤ
ウデアリマスルシ、私共モ亦其ノ觀點
ニ立ツテ、色々助力ヲ應請ヲ致シテ居
ルヤウナ情勢デアリマス

○森(幸)委員 下ノ位出來マス御見込
デセウ、過燐酸石灰、硫酸「アンモニ
ア」、石灰窒素ハ今造ツテ貰ヒマシテ
モ今年ノ間ニハ合ヒマセヌ
○補見政府委員 過燐酸石灰ノ數量ニ
付キマシテハ、私共今正確ナ數字ヲ覺
エテ居リマセヌノデ、後程御答ヘ致シ
マス
○森(幸)委員 此ハ此ノ戰爭中、殆ド
手ノ著ケヤウモナカッタ畜産、水産、
蠶絲、此ノ方面ニ付テハ今後ノ御方針
ヲ承リタイノデアリマスルガ、餘リ時
間ヲ取リマスルカラ、是ハ他ノ機會ニ
關リタイト思フノデアリマスルガ、一

寸蠶絲對策ニ付テ御尋ネ致シタイと思
フノデアリマスガ、蠶絲局長御見込ニ
ナツテ居リマス
○馬越委員長代理 御見込ニナツテ居
ナイヤウデアリマス
○森(幸)委員 ソレデハ又ノ機會ニ致
シマス、水産對策ニ付テ御尋ネ致シタ
イト思フノデアリマスルガ、今日戰爭
ノ爲ニ水産業者ガ、非常ニ色々ノ努力
ヲ拂ハサレタノデアリマスガ、殊ニ漁
船ノ徵發デアリマス、此ノ漁船ノ徵發
ハ、終戦後民間ニ拂下ゲタモノモアル
ヤウデアリマスガ、到底今マデノヤウ
ニ之ヲ活用スルコトハ出來得ナイノデ
アリマス、相當漁船ノ製造ニ付テハ御
骨折ニナツテ居ラレルコト思ヒマス
ガ、併シ此ノ資材、機械等ノ値上リカ
ラ、其ノ價格ノ點モ、戰前ニ對シテ十
二、三倍モ向上シテ居ルヤウニ聞イテ
居リマス、併シ物價ノ昂騰ハ總テノ物
ガ上ツテ來ルノデスカラ、上ツタモノ
ハ仕方ガナイノデアリマスガ、上ツテ
モ船ガ出來得ル相當ノ途ガ開イテ居ル
カト云フコトニ付テハ内容ヲ伺ヒタイ
ノデアリマス

○三堀政府委員 只今仰セノ通り、今
後ノ水産對策ノ非常ニ大キナ目標ハ漁
船ノ問題ナノデアリマシテ、此ノ前本
會議大臣カラモ申サレマシタ通り、
漁船ノ減リ方ハ特ニ優秀漁船ニ於テ著
シイノデ、ソレヲ急速ニ補フ意味ニ於
テ、昨年末閣議決定デ復興計畫ヲ立
テテ今著々進ンデ居ル譯ナノデアリマ
ス、只今ノ造船上ノ隘路ト申シマスモ
ノハ、御指摘ノ通りニ資材面、其ノ他
ニモ勿論アリマスレドモ、問題ハ專
ラ船價ニ繫ツテ居ルヤウデアリマス、
幸カ不幸カ他ノ造船關係ガ、客船、貨
物船殆ド總テ「ストップ」ノ狀態ニナツ

○三堀政府委員 只今仰セノ通り、今
後ノ水産對策ノ非常ニ大キナ目標ハ漁
船ノ問題ナノデアリマシテ、此ノ前本
會議大臣カラモ申サレマシタ通り、
漁船ノ減リ方ハ特ニ優秀漁船ニ於テ著
シイノデ、ソレヲ急速ニ補フ意味ニ於
テ、昨年末閣議決定デ復興計畫ヲ立
テテ今著々進ンデ居ル譯ナノデアリマ
ス、只今ノ造船上ノ隘路ト申シマスモ
ノハ、御指摘ノ通りニ資材面、其ノ他
ニモ勿論アリマスレドモ、問題ハ專
ラ船價ニ繫ツテ居ルヤウデアリマス、
幸カ不幸カ他ノ造船關係ガ、客船、貨
物船殆ド總テ「ストップ」ノ狀態ニナツ

○三堀政府委員 只今仰セノ通り、今
後ノ水産對策ノ非常ニ大キナ目標ハ漁
船ノ問題ナノデアリマシテ、此ノ前本
會議大臣カラモ申サレマシタ通り、
漁船ノ減リ方ハ特ニ優秀漁船ニ於テ著
シイノデ、ソレヲ急速ニ補フ意味ニ於
テ、昨年末閣議決定デ復興計畫ヲ立
テテ今著々進ンデ居ル譯ナノデアリマ
ス、只今ノ造船上ノ隘路ト申シマスモ
ノハ、御指摘ノ通りニ資材面、其ノ他
ニモ勿論アリマスレドモ、問題ハ專
ラ船價ニ繫ツテ居ルヤウデアリマス、
幸カ不幸カ他ノ造船關係ガ、客船、貨
物船殆ド總テ「ストップ」ノ狀態ニナツ

テ居リマシテ、有力な各造船業者が、殆ど全部造船ノ建造ニ掛ツテ居ルノアリマス、サウ云フ意味ニ於キマシテハ、造船ノ建造ハ非常ニ順調ニ進メテ居ル譯デアリマス、唯問題ハ御指摘ノ通り、船價ガ十倍以上ニモナツテ居ルノデアリマシテ、是ハ此ノ先殆ど見透シガ付キ兼テ居ル状態ナノデアリマシテ、隨テ造船ニ對スル資金ノ手當ガ、漁業者ニ取リマシテ非常ナ痛手トナツテ居リマス、我々簡單ニ概算致シマシテモ、三十三萬、トンノ計畫ヲ遂行致シマスノニ、大體五十數億ノ金ヲ要スルノデハナイカト思ヒマス、勿論其ノ中若干ノモノハ手持資金等ガアリマスガ、金融機關ノ融通ヲ受ケナケレバナラナイモノガ、大體三十五、六億程度ニナルノデハナイカト云フノデ、非常ニ心配ヲ致シマシテ、農林中央金庫、勸銀、興銀等中央ニ於キマシテ、從來カラ漁船關係ノ金融ニ當ツテ居リマシテ各金融機關ニ對シマシテハ、極力事情ヲ話シマシテ、金融ノ途ヲ仰イデ居ル譯ナノデアリマシテ、今マデノ所大體ニ於キマシテ、順調ニ進メテ居ルヤウニ、私共トシマシテハ考ヘテ居ルノデアリマス、此ノ船價ノ適當ナ所ニ落付ケルコト云フコトハ、非常ニ必要ダト思ヒマスケレドモ、申上ゲルマデモナク、造船業ハ綜合産業ナノデアリマシテ、簡單ニ船價ヲ一定ノ所ニ釘付ケスルコト云フコトガ出來兼ネル状態ナノデアリマシテ、公定價格ヲ決メルコトハ勿論是ハサウ難カシヨトデハナイト思ヒマスケレドモ、公定價格ヲ決メタガ爲ニ、却ツテ今ノ所順調ニ進メテ居ル此ノ漁船建造ヲ、船價ヲ決メタガ爲ニ「ストップ」サセルト云フコトニナリマシテモ、角ヲ矯メテ牛

ヲ殺スト云フコトニナリマスノデ、此ノ所運輸省ノ方トモ緊密ナ連絡ヲ取リナガラ、専ラ内面的ニ漁船ノ建造ニ當ル造船關係ノ者ト、漁業者トノ間ノ内輪ノ話合デ、出來ル限リ適當ナ所ニ收メルヤムニ致シタイト思ツテ努力シテ居ルノデアリマス、ソレニハ今御話申上ゲマシタヤウナ、殆ド現在ノ船ノ注文主ハ漁業者ナノデアリマスカラ、漁業者ノ間ニ於テ不當ニ自己ノ船ノミヲ早ク造リタイト云フ利己的ナ心ガ動カナケレバ、サウ無暗ニ造レナイト云フコトハナイ譯デアリマスカラ、サウ云フ面ヲモ考ヘマシテ、今色々折衝致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ漁船ノ建造ハ現在ノ所ニ先行キハ勿論鐵鋼ノ關係其ノ他非常ニ種々困難ガラウカト思ヒマスケレドモ、現在ノ所、サウ非常ニ困難ハ感ジテ居ラナイノデアリマス

○森(幸)委員 御答辯洵ニ有難ウゴザイマシタガ、此ノ漁船ガ非常ニ値上リシテ來タ、是ハ仕方ガナイト思ヒマスガ、此ノ漁船ヲ造ルニ付テハ資金デアリマス、此ノ資金ニ付テハ、一時二十、三倍モ上ツタ船ヲ造ルコトハ、個人ト致シマシテハ中々困難デアリマシタ、ドウシテモ金融機關ノ援助ヲ仰ガナケレバナラヌノデアリマスガ、今日金融機關ガ此ノ船價ニ對シテ、金ヲ出シテ呉レルカ呉レヌカト云フ問題デアリマス、ソレハ私ノ考ヘデハ、漁船ニ對スル保險制度ガ確立致シマシテ、相當ノ保險ガ附ケラレト云フコトニナレバ、金融機關ハ喜んで喜ンデト云フコトハアリマセヌケレドモ、兎ニ角金融ヲ考ヘテ呉レルノデハアルマイカト思フノデアリマス、今日ノ金融制度ト云フモノハ洵ニ貧弱デアリマシ

テ、アノ制度ニ於キマシテハ、船ヲ造ルニ付テ金融機關ガ力ヲ貸スト云フコトハ、一寸首ヲ傾ケテ應ジナイノデハナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、此ノ漁船ニ對スル保險制度ニ付テハ御考ヘヲ承リタイ、又茲ニ關係方面ヨリ農業ニ對スル保險制度ヲ設ケヨト云フ指令モアリマシテ、色々農林省トシテハ御研究ニナツテ居ルヤウデアリマスガ、家畜ニ對スル保險、或ハ農耕作物ニ對スル保險、又蠶蠶ニ對シテ蠶ノ生産ニ對シテマデモ保險ヲスルヤウニ政府ハ御考ヘニナツテ居ルヤウデアリマスガ、此ノ農業保險、又併セテ漁船保險ノ内容ニ付テ御方針ヲ承リタイ

○三堀政府委員 漁船保險ノ點ニ付テハ御尋ネデアツタノデアリマスガ、御話ノ通りニ船價ガ非常ニ昂騰致シマシテ、從來ノヤウナ保險金ノ關係デハ、漁業者ト致シマシテハ、折衝保險金ハ實ツテモ、新シイ船ノ建造ニハ殆んど益スル所ハナイト云フコトニナリマスノデ、此ノ保險金ノ最高額ノ大幅引上ゲニ付キマシテハ、既ニ手配ヲ致シマシテ、各漁船組合トモ準備ヲ進メテ居ルノデアリマス、唯問題ハソレノミデハ勿論片付カナインデアリマシテ、最高保險金額ヲ大幅ニ引上ゲルト云フコトニナリマス、漁船組合ト致シマシテハ、其ノ負擔ガ非常ニ大キナル譯デアリマシテ、隨テ從來政府ノヤツテ居リマス再保險ニ付キマシテモ、亦之ヲ大幅ニ引上ゲナケレバナラナイコトガ、當然次ノ問題トシテ起ツテ來ル譯ナンデアリマス、現在百分ノ七十デアリマスケレドモ、業界ノ要望ト致シマシテハ、之ヲ百分ノ九十位マデ引上ゲテ實ヒタイト云フ希望ガアル譯デアリマス、其ノ希望ハ尤モダト思ハレルノデアリマスケレドモ、ソレニ付キマシテハ勿論財政的ナ國ノ負擔ガ考ヘラレハ譯デアリマスカラ、我々ト致シマシテハ關係方面トモ折衝致シマシテ、財政方面ノ解決ヲ得ルト同時ニ、是ハ又勅令ノ改正モ要スルノデサウ云フ法規的ナ準備モ講ジタイト思ツテ、折角今色々調査ヲ致シテ居ルノ所デアリマス

○補見政府委員 農業保險ノ關係ハ、一般ノ耕地ノ問題、養蠶ノ問題、ソレカラ只今御話ノゴザイマシタ水産ノ保險ノ問題、總テ農業、水産業ノ經營ノ上ニ於キマシテ、極メテ重大ナ密接ナ關係ヲ持ツテ居ル次第デアリマス、從來モ御承知ノヤウニ農業關係ニ於キマシテハ或ル程度整備ラシタ保險制度ヲ持ツテ參リマシタガ、尙ホ今日ノ情勢ニ於キマシテハ、再檢討ヲ加ヘナケレバナラヌ點ガアラウト考ヘルノデアリマス、隨テ例ヘバ農業保險ニ付キマシテハ、根本的ニ此ノ問題ヲ再檢討ヲ致シマスル爲ニ、農林省ト致シマシテモ相當是カラ此ノ方面ニ力ヲ入レテ調査ヲ致シ、出來ルだけ早く此ノ成案ヲ得タイト努力シテ居ルヤウナ狀態デアリマス

○森(幸)委員 尙ホ資料ヲ要求致シテ「ザイマス」ノデ、資料ヲ戴イテ又色々御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、他ノ機會ニ譲リマシテ、私ノ質問ハ此ノ程度デ終リタイト思フノデアリマス、要スルニ政府ガ自分ノヤリ損ヒヲ自分ノ力デ抑ヘテ行カウ、所謂自分ノ食糧ニ對スル今マデノ政策ガ十分デナカッタ、其ノ結果ガ自分ノ力デ收メテ行カウト云フ、斯ウ云フヤリ方ハ洵ニイケナイノデアリマス、ドウカーツ此ノ食糧問

題ニ付キマシテハ、飽クマデモ強權發動ト云フヤウナコトヲ考ヘズニ、本當ニ生産者ノ立場ヲ考慮シ、消費者ノ立場ヲ考慮シテ、サウシテ適當ナル施策ヲ以テ進メラレトコトヲ希望シテ私ノ質問ヲ終リマス

○馬越委員長代理 苦米地義三君

○苦米地(義)委員 私モ農林當局ニ向ヒマシテ、以下五項目ニ付テ御尋ネヲ致シタイト思フノデアリマス、只今大臣ガオイデニナリマセヌカラ、直接大臣カラ伺ヒタイコトモゴザイマスガ、其ノ點ハ適當ナ機會ニ大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、又時間モ皆サニ御迷惑ヲ掛ケテハ相濟ミマセヌカラ、或ベク簡單ニ要綱デケラ申上ゲマシテ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス

先ツ第一、此ノ措置令ト供出未完納ノ分ニ付テノ關係デアリマス、大體本勅令ハ發布當時カラ非常ニ惡評デアリマシテ、世間ニハ如何ニモ惡法ヲ公布シタト云フ感ジヲ抱カシタノデゴザイマス、昨年斯様ナ法律ガゴザイマセヌ爲ニ、正直ナ者ハ馬鹿ヲ見タト云フヤウナコトガゴザイマシタノデ、何カラ之ニ對スル對策ヲ講ジテ實ヒタイト云フ、眞面目ナ生産者及ビ地方ノ供出ノ監督ニ當ル方々ガ希望ヲ持ツテ居ツタノデゴザイマス、所ガ制當ヲ致シマシタ際ニハ、何等サウ云フコトガゴザイマセヌノデ、又シテモ自分等ハ馬鹿ヲ見ルノデヤナカラウガト云フヤウナ氣分ガ、其ノ當時生産者ニアツタト思フノデアリマス、隨ヒマシテ昨年ノ不作ニ大キナ原因ガアリマシテモ、其ノ他ニ前年ノ左様ナ経験カラ致シマシテ、供出ガ可ナリ不成績ダツタト云フコトハ、是ハドウモ免レナイ心理狀態デアツタラウト思フノデアリマス、其

ノ結果ト致シテ一月ノ末ニ、是ガ對策トシテ本指置令ヲ御出シニナルコトニナリ、二月十七日ニ發布サレタコトト思フノデアリマス、當時總選舉ガ間近ニアリマシタ爲ニ、可ナリ選舉對策ニ利用サレタヤウナ氣分モ見エルノデゴザイマシテ、ソレト又米價ガ非常ニ安カツタト云フヤウナ關係カラ致シマシテ、供出ガ頗ル振ハナカツタト私ハ思フノデアリマス、ナゼ一體割當ヲ致シマシタ時ニ、政府ハ之ヲ出サナカツタノデアラウカ、ドウシテコンナニ遅レタ事情ガアツタデアリマセウカ、其ノ間ニ約四箇月モアリマスカラ、相當ニ横流シガアツタンデバナイカト私ハ思フノデアリマス、ソコデサウ云フ結果カラ致シマシテ、本法ヲ適用シタノデゴザイマセウカ、是ハ此ノ間本會議ニ於キマシテ幣原國務相ガ傳家ノ寶刀ヲ、斯ウ云フ風ニ言ハレマシタケレドモ、此ノ調査ニ依リマスト、四箇月間ニ千八百九十九件モ強權ノ發動ヲ致シテ居リマス、可ナリ澤山ナ強權ノ發動ヲ致シタト私ハ思フノデアリマス、是デ尙ホ傳家ノ寶刀ダト云フ程度デアリマシレバ、本當ニ適用スレバ可ナリ多クノ惡質ノ人ガ居ルノダト云フコトハ豫想ニ難クナイト思ヒマス、其ノ結果ト致シマシテ、今尙ホ二割五分ノ未供出ノモノガゴザイマスガ、是ハ一體今後供出サルベキモノデアリマセウカ、若シ全部ガ供出サレマセウデモ、何程カ供出サレマセウカ、其ノ點ニ付テノ政府ノ御見解ヲ伺ヒタイト思ヒマス、又供出スルニ付キマシテモ、還元配給ト云フコトヲ條件トシテヤラセルヤウナ場合ガアルヤウデアリマスガ、是ハ無敵ナ手數デゴザイマシテ、本當ニ消費者ヘ向ケルヤウナ供出ガ、今ノ二割五分

ノ未供出ノ範圍カラ一體ドレ位供出サレマスカ、其ノ點ニ付テ先ツ第一ニ御尋ね致シタイト思ヒマス
○補見政府委員 緊急措置令ガ、割當時ニナゼ一緒ニ公布セラレナカツタカト云フ點デアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ前日ノ本會議ニ於キマシテモ、種々應答ガゴザイマシタヤウニ、終戦後ノ色々ナ社會的ナ混亂カラ、又ハ經濟的ナ混亂、斯ウ云フ事態ニ於キマシテ結局食糧問題ハ、先行極メテ不安ノ狀態ガ藏サレテ居リマシタ、隨ヒマシテ例ヘバ千石農林大臣ガ納得ヅクノ供出ヲ要望シ、又松村農林大臣ガ同胞愛ニ依リ供出ヲ要望セラレタノデアリマス、此ノ納得ヅクノ供出ト云ヒ、又同胞愛ニ依リ供出ト申シマスノモ、總テ此ノ食糧事情ヲ切抜ケル爲ニハ、十分農家ノ方々ノ協力ヲ得テ萬全ヲ期シテ行キタイ、例ヘバ納得ヅクノ供出ト申シマスノモ、出セル者ダケ一ツ出サウト云フヤウナ、出ス餘力ノアル者ガ出サウ、斯ウ云フ意味ノ納得ヅクデハナクシテ、辛カラウガ、國ノ食糧事情ハ斯ウナノデアアル、隨テ自分ノ便米ヲ割イデデモ一ツ全體ノ爲ニ出シテ貰ヒタイ、サウ云フコトヲ能ク農家ニ納得シテ戴キマシテ、サウシテ出シテ戴カウ、斯ウ云フノガ納得ヅクノ供出ヲ要望サレタ所以デアツタノデアリマス、又同胞愛ニ依リ供出ニ致シマシテモ同様ノ趣旨デアツタノデアリマスガ、併シ最初ニ申上ガマシタヤウニ、一般ノ風潮ト申シマスガ、雰囲気ハサウ云フコトトハ凡ソ反對ノ方向ニ參リ、是ハ御手許ニ參考資料トシテ差上ゲテアリマスル政府買入米ノ旬別進捗狀況ヲ御覽願ヒマシテモ分リマスヤウニ、一月ノ下旬ヲ境ト致シマシテ、供出ノ進捗

ハ漸次下リ坂ニナツテ參ルヤウナ情勢デアツタノデアリマス、隨テ此ノ狀態デハドウシテモ食糧輸入ノ食ヒ緊キマデハ持タナイ、ソコデドウシテモ已ムヲ得ザル處置トシテ、此ノ措置ヲ講ジタノデアリマス、尙ホ傳家ノ寶刀ヲシテノ役割ノ問題デアリマスガ、此ノ點モ昨晨農林大臣カラ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、實際ノ件數ハ千百數十件、石數ハ二千數百石ニ過ギナイノデアリマスガ、是モ政府買入米ノ旬別進捗狀況ニ依リマシテ御覽願ヒマス、分リマスヤウニ、二月ノ上旬カラ漸次下リ坂ニ、例ヘバ政府買入米ガ二月上旬デ百十萬石ノモノガ中旬ニハ九十二萬、下旬ニハ七十七萬、ソレガ六十五萬、斯ウ云フ風ニ漸次下リツ、アツタモノガ、強權發動ニ於ケル事前ノ行爲デアリマスル警告狀ヲ發スルコトニ依リマシテ、ソレダケ三月中旬ニハ前旬ノ六十五萬ノモノガ八十六萬ニナリ、又下旬ニハ百四十五萬ニナリ、斯ウ云フ風ニ、此ノ警告ダケデ是ダケノ成績ヲ擧ゲテ居ルノデアリマシテ、極端ナ言葉デ申セバ、傳家ノ寶刀ノ役割ハ二千石、現實ノ收量ハ百二十石デアルケレドモ、間接ノ效果ハ百萬石以上ノモノガ期待出來ル、斯ウ云フ風ニ實ハ私共考ヘテ居ルノデアリマス
ソレカラ未完納ノ處置ノ問題デアリマスガ、現實ニ現在ノ狀況ニ於キマシテ、實際ニ持ツテ居ル者、又既に横流シ等ヲ致シタ者、或ハ又食込ミヲ致シタ者、ソレハ其ノ地方ノ事情ニ依ツテ違フト思フノデアリマスガ、是ハ出來ルダケ個人ノナ理由ニ基キマシテ、未完納ナモノニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ馬鈴薯及ビ麥ノ割當ニ際シマシテハ、サウ云フモノト視合セ

ヲ致シマシテ、綜合供出制度ヲ執ツテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ從來ノヤリ方トハ違ヒマシテ、市町村ノ食糧調整委員會、即チ村內デソレハ、ノ各農家ノ事情ヲ一番能ク知ツテ居ル食糧調整委員會デ十分ニ調査ヲシテ戴キ、又調整ヲシテ戴キマシテ、今後ノ割當制度ヲヤツテ行キタイ、此ノコトニ依ツテ解決ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ還元米ノ問題デアリマスガ、是ハ概括的ノコトヲ申上ゲレバ、還元米ヲシテケレバナラヌヤウナ農家カラ供出ヲ仰グ、供出ヲ得ルト云フコトハ、是ハ實ハ變ナ話デアル譯デアリマスガ、併シ是モ御承知ノヤウニ時間的ノ緊ガリ、例ヘバ半年先ニハドウシテモ還元シナケレバナラヌ、併シ此ノ半年ノ間ヲ生産者モ消費者モ緊イデ行カナケレバナラヌト云フヤウナ場合ニハ、ドウシテモ時間的ノ緊ガリヲツケル爲ニ、萬已ムヲ得ザルノ處置トシテ斯ウ云フヤウナコトヲヤツテ居ルノデアリマス、戰爭中モ實ハ此ノ食糧年度ノ後半期ニハ、滿洲ノ糧穀類ヲ緊グ、ソレマデノ緊ギトシテ還元米ヲシナケレバナラヌヤウナ農家カラ供出ヲシテ食糧イデヤウナ狀況デアリマス、本年モ同様ニ輸入食糧デ後半ハ食糧イデ行ク、其ノ食糧ギノ爲ニ、ドウシテモサウ云フヤウナ農家カラモ供出ヲ得ナケレバナラヌヤウナ狀況デアツタノデアリマス、此ノ事情ハ苦況地サシモ能ク御承知ノ通りデアリマス、尙ホ全體ノ需給ノ問題ニ付テハ今申上ゲマシタ通りデアリマスガ、地方的ニ見マシテモ、一ツノ縣デ都市ガ既ニ食糧ガナイ、併シ農家ニハ尙ホ三月、四月ノ分ガアルト云フ場合ニハ、ドウシテモ全國全體ニ於ケル操作ト同時

ニ、縣自體ニ於キマシテモサウ云フヤウナ操作ヲ講ジテ貰ハナケレバナラヌ場合モ起ルカト存ジテ居ルヤウナ次第デアリマス
○苦米地(義)委員 只今御話ノ還元米ノ配給デゴザイマスガ、是ガ各地方ニ於キマシテ重大問題ヲ惹起シテ居ルノデアリマス、還元米ヲシテヤルカラ出シテ與レト云フコトハ、相當無理ヲシテ皆出シタ、其ノ分ハ村ヘ保有シテ置テ、サウシテ必要ノ場合ニハ村民ニ配給スルト云フニモ拘ラズ、ソレガ一向實行サレヌ、サウシテ寧ろ其ノ村ノ保有米ヲ他ノ地方ヘ移動スルト云フヤウナ場合ガゴザイマシテ、非常ナ大キナ問題ヲ地方デ喚ビ起シテ居ル狀態デゴザイマス、是ハ一面ニ於キマシテハ、唯苦痛デアルバカリデハナシ、政府ニ對スル信用ヲ非常ニ害シテ居ルト云フヤウナコトヲ、農民ガ政府ニ離反スルト云フヤウナコトモサウ云フヤウナ所カラ起ルト思フノデアリマス、ソレナラバ其ノ最初ノ割當ガ非常ニ無理デアツタカドハ、斯ウ云フコトデゴザイマスガ、是ハ押付割當ト云フノデ上ノ方カラドンノ下部ヘ割當テ參リマスガ、併シ最端下部デハ其ノ生産ノ實收ヲ能ク檢シマシテ、サウシテ大體可能ダト云フ數量ヲ個人ニ割當テ居ル管デアリマス、現ニ其ノ審査ニ當ツタ方ノ話ニ依リマシテ、此ノ程度ナラバ出シ得ル、斯ウ云フ風ハ私共ハ聞イテ居ルノデアリマス、サウスルト云フト、二割五分ノ未完納ト云フモノガ果シテドウナツタデアラウカト云フコトガ疑問ニナルノデアリマス、若シ割當ガ本當ニ整理デアツタト云フコトデアリマシレバ、之ヲ全部取上ゲルト云フコトハ無理ダト私ハ思フノデアリマス、ケ

レドモ検査シタ方ノ側カラ申シマシテ
可能ダト云フ數量デアツタトシマスレ
バ、何處ニデモ是ハ供出ヲシテ賣ハナ
ケレバナラヌモノダト思フノデアリマ
ス、若シ供出スベキモノガ横流レヲシ
タ爲ニソレガ出来ナカッタト云フコト
デアリマスレバ、悉ク是ハ惡質ノモノ
デナケレバナラヌト思フノデアリマ
ス、其ノ點ニ對シテ此ノ措置令が出ナ
イ前デアリマシタ前年度ニ於テハ、是
ハ其ノ儘切ラレテ結構ダト思ヒマス
ガ、措置令ガ現ニ存スル限り、サウ云
フ場合ニハドシナ解釋ヲシテ、ドウ云
フ處置ヲ執ラル、ノデアリマセウカ、
モウ一度御伺ヒ致シマス

○補見政府委員 只今御述ベニナリマ
シタヤウナ場合ニ付テハ、先程申上
ゲマシタヤウニ、食糧調整委員會ニ於
キマシテサウ云フモノヲ保有量トシテ
見テ、保有量ト申シマス、殘存量
ト見マシテ、麥ナリ馬鈴薯、リノ類當
ヲ致シテ居ルノデアリマス、結局其ノ
モノハ出シテ賣フト云フ頭デ以テ、供
出割當ヲ致シテ居ルノデアリマス、結
局是ハドウシテモ現在ノ狀況ノ下ニ於
キマシテハ、農家カラハ出シテ賣キタ
イ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○苦米地(義)委員 ソレデハ其ノ點ハ
能ク分リマシタ、唯割當ガ非常ニ無理
デアツタト云フ點ハ、確カニ事實ダト
思フ、其ノ無理ナ割當ヲ無理ニ取上ゲ
ルト云フコトハ、政治ノ面カラ言ツテ
少シ無理デヤナイカト私ハ思フ、此ノ
點ハ今回ノ割當ヲ他ノ品物ニ依ツテ取
上ゲルト云フコトニ致シマシテモ、十分
ニ御考慮ガ必要デアラウカト思ヒマス
其ノ次ニ、供出制度合理化ノ問題デ
スガ、大體總テノ問題ハ供出ノ方法ガ
不合理デアルト云フ所カラ出發シテ居

ルト思フノデアリマス、之ニ對シテ
ハ、先程委員カラノ質問モアリ、御
答ヘモアツタヤウデアリマス、マダ政
府デハハツキリシタ方針ガ立タヌト云フ
コトデゴザイマスレドモ、モウソロ
ソロ收穫ノ時期ニモナツテ参リマス
シ、何カ不安ナ狀態ガ農村ニゴザイ
マスカラ、是ハ出来ルダケ早く農村ノ
安心ノ行キヤウナ方法ヲ案出致シマシ
テ、早く知ラセル必要ガアルノデヤナ
イカト思フノデアリマス、其ノ要點
ハ、實際ノ生産ハドレ位アルカト云フ
コトヲハツキリト擧ムコトガ一番ノ前
提ダト思ヒマスガ、今マデノ割當制度
ハ何ダカ簡單ナ方法ヲ採ルヤウナコト
ニナリマシテ、最後ノ末端ニ参リマス
ト、ヤハリ段別割當カ何カノヤウニ致
シテマフ、土地ノ生産力デアルト
カ、或ハ環境ノ差異デアルトカ云フヤウ
ナコトヲ一切抜キニシマシテ、簡單ニ
耕作面積ニ割當テルト云フコトガ通例
デアリヤウニ思ヒマス、而モ其ノ耕作
面積ト云フモノハ非常ニ正確デアリ
マス、此ノ不正確ナ面積ヲ捉ヘマシテ
割當テマスカラ、農民ノ幸不幸ト云フ
モノガソコニ生レテ來ルト思フノデア
リマスガ、之ヲドウシテハツギリサセ
ルカト云フコトガ、我々ノ前提條件ニ
ナルト思ヒマス、徹底シタ方法ニ依リ
マスレバ、共同脱穀ト云フヤウナコト
ガ一番正確ニ現ハレルノデアリマス
ガ、斯ウ云フ點ニ對シマシテ、政府ハ
積極的ニ共同脱穀ヲヤラセルト云フヤ
ウナ御意思デモゴザイマセウカ、其ノ
點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、是ハ私共ノ
經驗ナノデスガ、實際多年農村ニ歸ッ
テ居リマス、躬ノ置カヌ家デモ置イテアル
マス、一様ニ或ル程度 供出ヲシテ

吳レ、野菜ノ供出ヲ言ツテ來マシテ
モ、各戸何貴目出シテ呉レト云フヤウ
ナコトヲ言ツテ來ルノデス、弱者、
オトナシイ者ハ皆ソレダ泣寢入りヲシ
テ居ルノデアリマスガ、末端ノ割當制
度ト云フモノハサウ云フコトサヘアル
ノデアリマスカラ、中々容易デナイコ
トデアリマスレドモ、是ハ合理性
ヲ缺ケバ、イツマデ經ツテモ不平ハ起
ルト思フノデアリス、ソレデアリマス
カラ、特ニ割當ニ對スル合理性ヲ以テ
行クト云フ御方針ニナラナケレバいか
ヌト思ヒマス、先程委員カラ一ツノ
案ガ出サレマシタガ、私モ一ツノ私案
ヲ御參照マデニ申上ゲタイト思ヒマ
ス、土地ノ生産力ヲ基準トシナケレバ
ドウシテモイカヌト思ヒマス、隨テ昔
カラ刈分制度即チ折半供出制度、之ヲ
一方ニ押ヘタラドウカト思ヒマス、サ
ウシマス、全國六千萬石生産致シマ
スレバ、三千萬石ガ入ツテ來ルノデア
リマス、サウシテ同時ニ一町歩以上ノ
耕作者ニ對シマシテハ、一町歩以上ノ
分ニ段當ニ依ラテ二俵ヲ各町村デ操作
米トシテ保有サセル、サウシテ其ノ外
ハ一切自由ニスルト云フコトニ致シマ
シテハドウカト云フ點ト、畑作ニ對シ
テハ定額供出量、是ハ其ノ地方ノ生産
歩合ガゴザイマスカラ、凡ソ檢見スレ
バ分ルノ段當幾ラ供出ヲセイト云フ
ヤウナ、先程委員カラ言ハレタヤウ
ナ供出方法ニ依リマシテ、此ノ二本建
制度ニ依ツテ供出ヲサセレバ、餘リ大
シタ混雜ガナクテ、サウシテ農民モ從
來カラ慣例ニナツテ居ル小作刈分制度
ノ慣習カゴザイマスカラ、サウ無理ナ
感ジワ持タズニ、相當ノ實收ガ得ルノ
デヤナイカト私ハ思フノデアリマス、
此ノコトハ一方カラ申シマスレバ、土

地ノ利用ガ國家的ニ役立ツト云フ認識
ヲ得ルノト、農業ノ自國ニ奉
公シテ居ルト云フ氣持ヲ出スノト、又
其ノ土地ヲ自分ガ信託ヲ受ケテ農業ヲ
ヤツテ居ルト云フヤウナ感ジモ、自ラ
出テ來ルノデヤナイカト私ハ思フ、私
ハ工場ノ經營ニ對シテモ信託經營ト云
フコトヲ實行致シマシテ、事業ハ社會
カラ信託ヲ受ケテ、資本ハ民衆カラ信
託ヲ受ケルト云フヤウナ氣持デ、從業
員全部ガ信託團體トシテ働カウデヤナ
イカト云フコトヲ「モットー」トシテ、
現在實行シテ居リマスガ、可ナリ好イ
成績ヲ舉ゲテ居リマス、隨ヒマシテ土
地所有ノ問題ニ付キマシテモ、農民ハ
土地ト云フモノハ自分ノ所有デハアル
ガ、國家ノ土地ヲ預ツテ居ルノダ、農
業自身モ自己ノ利益バカリデナシニ、
社會ニ對スル一ツノ義務ヲ背負ツテ居
ルノダト云フヤウナ道義觀念ヲ以テ、
農業ヲ實踐スルト云フコトニナレバ、
ソコニ日本ノ道義國家ノ再建ト云フコ
トモ亦一面カラ現ハスコトガ出來ルト
思フノデアリマス、是ハ一舉兩得ノ案
デヤナイカト私ハ思フノデアリマス
ガ、左様ナ點ニ對シマシテ、御所感ガ
アリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 供出ノ問題ニ關聯シ
マシテ、特ニ其ノ公正ヲ期スル爲ニ
ハ、生産量ヲ正確ニ擧ムコトガ最モ重
要デアリマス、是ハ只今御述ベニナリ
マシタ通りデアリマシテ、隨テ私共モ
本年ノ麥ニ付キマシテハ相當馬力ヲ
掛ケマシテ、各方面ヲ總動員シテ、麥
ノ段別並ニ生産量ヲ正確ニ擧ムヤウ
努力ヲ致シタノデゴザイマスガ、米ニ
付キマシテモ此ノ麥デ得マシタ經驗ヲ
基礎ト致シマシテ、特ニ此ノ點ハ十分
努力ヲシテ参リタイト思フノデアリマ

ス、ソレニ關聯シマシテ共同割調製等
ノ問題ニ付テノ御意見デアリマスガ、
實ハ私共モ斯ウ云フコトニ依ツテ、最
モ正確ニ生産量ヲ擧ミ得ルノデハナイ
カ、斯様ニ考ヘマシテ、昨年ハサウ云フ
コトデ以テ進メタノデアリマス、實ハ
省令モ改正ヲ致シ、通牒モ出シタノデ
アリマスガ、結局全體ノ空氣ガソレニ
對シテソッポヲ向イテ居ルヤウナ狀
態デアリマシタノデ、所期ノ效果ヲ得
ラズ、又中間ノ指導者ノ方々モ、ソレ
ニ付テ寧ろ政府側ニ對シテ反對ノ意
向デ、農民諸君ニ接セラレマスレ爲ニ、
總テノ問題ガ思フヤウニ參ラナカッ
タノデアリマス、此ノコトハ他ノ事柄
ニ付テモ同様デアリマスガ、色々生産
量其ノ他ノコトヲ正確ニ擧ミマス場
合、斯ウ云フ案ガ宜イノデヤナイカ、
又サウ云フ案ヲ政府トシテ取上ゲデ、
イザ實行ニナリマスルト、色々足ヲ引
張テ手ヲ引張テ、效果ヲ擧ゲラレ
ナイト云フヤウナコトガアリマス
デ、是等ノコトニ付テハ中間ノ指導者
ノ方々ノ協力、又趣旨ノ徹底、啓蒙
ト云フヤウナコトニ特ニ協力ヲ得マシ
テ、努力ヲシテ参リタイト考ヘテ居
ルノデアリマス、末端ノ割當ノ公正ノ問
題ニ付キマシテハ、先程來色々申上
ゲマシタ通りデアリマシテ、結局是ハ民
主的ナ食糧調整委員會ニ、政府ト致シ
マシテハ期待スル所極メテ大ナルモノ
ガアル譯デアリマシテ、是ガ適正ナル
運営ヲ政府ト致シマシテハ非常ニ期待
シテ居ルヤウナ狀態デアリマス

ソレカラ割當ニ付テ一ツノ試案ト
シテ、苦米地サンカラ御話ヲ承ツタノ
デアリマスガ、自由販賣ノ問題ニ付キ
マシテハ、先程桑サンノ御質問ニ對シ
テ御答ヘ致シマシタ通りデゴザイマス

地ノ利用ガ國家的ニ役立ツト云フ認識
ヲ得ルノト、農業ノ自國ニ奉
公シテ居ルト云フ氣持ヲ出スノト、又
其ノ土地ヲ自分ガ信託ヲ受ケテ農業ヲ
ヤツテ居ルト云フヤウナ感ジモ、自ラ
出テ來ルノデヤナイカト私ハ思フ、私
ハ工場ノ經營ニ對シテモ信託經營ト云
フコトヲ實行致シマシテ、事業ハ社會
カラ信託ヲ受ケテ、資本ハ民衆カラ信
託ヲ受ケルト云フヤウナ氣持デ、從業
員全部ガ信託團體トシテ働カウデヤナ
イカト云フコトヲ「モットー」トシテ、
現在實行シテ居リマスガ、可ナリ好イ
成績ヲ舉ゲテ居リマス、隨ヒマシテ土
地所有ノ問題ニ付キマシテモ、農民ハ
土地ト云フモノハ自分ノ所有デハアル
ガ、國家ノ土地ヲ預ツテ居ルノダ、農
業自身モ自己ノ利益バカリデナシニ、
社會ニ對スル一ツノ義務ヲ背負ツテ居
ルノダト云フヤウナ道義觀念ヲ以テ、
農業ヲ實踐スルト云フコトニナレバ、
ソコニ日本ノ道義國家ノ再建ト云フコ
トモ亦一面カラ現ハスコトガ出來ルト
思フノデアリマス、是ハ一舉兩得ノ案
デヤナイカト私ハ思フノデアリマス
ガ、左様ナ點ニ對シマシテ、御所感ガ
アリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 供出ノ問題ニ關聯シ
マシテ、特ニ其ノ公正ヲ期スル爲ニ
ハ、生産量ヲ正確ニ擧ムコトガ最モ重
要デアリマス、是ハ只今御述ベニナリ
マシタ通りデアリマシテ、隨テ私共モ
本年ノ麥ニ付キマシテハ相當馬力ヲ
掛ケマシテ、各方面ヲ總動員シテ、麥
ノ段別並ニ生産量ヲ正確ニ擧ムヤウ
努力ヲ致シタノデゴザイマスガ、米ニ
付キマシテモ此ノ麥デ得マシタ經驗ヲ
基礎ト致シマシテ、特ニ此ノ點ハ十分
努力ヲシテ参リタイト思フノデアリマ

地ノ利用ガ國家的ニ役立ツト云フ認識
ヲ得ルノト、農業ノ自國ニ奉
公シテ居ルト云フ氣持ヲ出スノト、又
其ノ土地ヲ自分ガ信託ヲ受ケテ農業ヲ
ヤツテ居ルト云フヤウナ感ジモ、自ラ
出テ來ルノデヤナイカト私ハ思フ、私
ハ工場ノ經營ニ對シテモ信託經營ト云
フコトヲ實行致シマシテ、事業ハ社會
カラ信託ヲ受ケテ、資本ハ民衆カラ信
託ヲ受ケルト云フヤウナ氣持デ、從業
員全部ガ信託團體トシテ働カウデヤナ
イカト云フコトヲ「モットー」トシテ、
現在實行シテ居リマスガ、可ナリ好イ
成績ヲ舉ゲテ居リマス、隨ヒマシテ土
地所有ノ問題ニ付キマシテモ、農民ハ
土地ト云フモノハ自分ノ所有デハアル
ガ、國家ノ土地ヲ預ツテ居ルノダ、農
業自身モ自己ノ利益バカリデナシニ、
社會ニ對スル一ツノ義務ヲ背負ツテ居
ルノダト云フヤウナ道義觀念ヲ以テ、
農業ヲ實踐スルト云フコトニナレバ、
ソコニ日本ノ道義國家ノ再建ト云フコ
トモ亦一面カラ現ハスコトガ出來ルト
思フノデアリマス、是ハ一舉兩得ノ案
デヤナイカト私ハ思フノデアリマス
ガ、左様ナ點ニ對シマシテ、御所感ガ
アリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 供出ノ問題ニ關聯シ
マシテ、特ニ其ノ公正ヲ期スル爲ニ
ハ、生産量ヲ正確ニ擧ムコトガ最モ重
要デアリマス、是ハ只今御述ベニナリ
マシタ通りデアリマシテ、隨テ私共モ
本年ノ麥ニ付キマシテハ相當馬力ヲ
掛ケマシテ、各方面ヲ總動員シテ、麥
ノ段別並ニ生産量ヲ正確ニ擧ムヤウ
努力ヲ致シタノデゴザイマスガ、米ニ
付キマシテモ此ノ麥デ得マシタ經驗ヲ
基礎ト致シマシテ、特ニ此ノ點ハ十分
努力ヲシテ参リタイト思フノデアリマ

地ノ利用ガ國家的ニ役立ツト云フ認識
ヲ得ルノト、農業ノ自國ニ奉
公シテ居ルト云フ氣持ヲ出スノト、又
其ノ土地ヲ自分ガ信託ヲ受ケテ農業ヲ
ヤツテ居ルト云フヤウナ感ジモ、自ラ
出テ來ルノデヤナイカト私ハ思フ、私
ハ工場ノ經營ニ對シテモ信託經營ト云
フコトヲ實行致シマシテ、事業ハ社會
カラ信託ヲ受ケテ、資本ハ民衆カラ信
託ヲ受ケルト云フヤウナ氣持デ、從業
員全部ガ信託團體トシテ働カウデヤナ
イカト云フコトヲ「モットー」トシテ、
現在實行シテ居リマスガ、可ナリ好イ
成績ヲ舉ゲテ居リマス、隨ヒマシテ土
地所有ノ問題ニ付キマシテモ、農民ハ
土地ト云フモノハ自分ノ所有デハアル
ガ、國家ノ土地ヲ預ツテ居ルノダ、農
業自身モ自己ノ利益バカリデナシニ、
社會ニ對スル一ツノ義務ヲ背負ツテ居
ルノダト云フヤウナ道義觀念ヲ以テ、
農業ヲ實踐スルト云フコトニナレバ、
ソコニ日本ノ道義國家ノ再建ト云フコ
トモ亦一面カラ現ハスコトガ出來ルト
思フノデアリマス、是ハ一舉兩得ノ案
デヤナイカト私ハ思フノデアリマス
ガ、左様ナ點ニ對シマシテ、御所感ガ
アリマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 供出ノ問題ニ關聯シ
マシテ、特ニ其ノ公正ヲ期スル爲ニ
ハ、生産量ヲ正確ニ擧ムコトガ最モ重
要デアリマス、是ハ只今御述ベニナリ
マシタ通りデアリマシテ、隨テ私共モ
本年ノ麥ニ付キマシテハ相當馬力ヲ
掛ケマシテ、各方面ヲ總動員シテ、麥
ノ段別並ニ生産量ヲ正確ニ擧ムヤウ
努力ヲ致シタノデゴザイマスガ、米ニ
付キマシテモ此ノ麥デ得マシタ經驗ヲ
基礎ト致シマシテ、特ニ此ノ點ハ十分
努力ヲシテ参リタイト思フノデアリマ

ガ、併シ此ノ試案トシテ御考ヘニナツ
テ居リマス。コトニ付キマシテハ、十分
私共ニ參考トシテ今後ノ供出割當ノ案
ヲ作りマス場合ニ、其ノ他ノ色々ノ案
トモ一併ニ検討ヲシ、又參考ニ致シテ
參リタイト存ジマス

○苦米地(義)委員 第三點デゴザイマ
スガ、農産物ノ價格ノ問題、ハ先程
森委員カラ御質問ニ依リマシテ御答
モゴザイマシタガ、供出ノ不結果ノ原
因ハ、米價ノ安イト云フコトニ重大ナ
理由ガアルト思フノデアリマス、其ノ
他ノ農作物ニ付キマシテモ、非常ニ釣
合ガ破レテ居ルト云フコトヲ知ルノデ
ゴザイマス、茲ニ御提出ニナリマシタ
主要食糧價格ノ指數ガゴザイマスガ、

之ヲ農産物ノ肥料關係ト對照致シマス
ト、昭和十二年ニ對スル現在ノ價值ノ
指數ハ、玄米ハ九六八、最も高クナツ
テ居リマス。モノハ裸麥ノ一二九三、デ
ゴザイマス、所ガ之ニ對シマシテ硫酸
ノ現在ノ價值ハ二七四〇、デゴザイマ
ス、石灰窒素ハ三五四八、過磷酸ハ二
五六〇、鉄ハ二五〇〇、「ブラウ」

ハ二五〇〇、水田ノ除草機ガ四〇〇
〇、藥劑ノ銅製劑ハ二〇〇〇、硫酸
石灰ガ二一〇〇、夥シキ差ガ茲ニ起
ツテ居ルノデアリマシテ、農産物價格
ノ安イト云フコトハ一目瞭然デゴザイ
マス、無論米價ヲ基準トシテ總テノ物
價ヲ調整スルト云フ大キナ方針ニ對シ
マシテハ、當然考ヘナケレバナラスノ
デアリマスガ、此ノ高クナツタ、而モ
官廳承認メマシタ此ノ價值ヲ引下ゲル
ト云フコトハ、私ハ容易デハナイト思
ヒマス、隨テ低イモノヲ高イ方ヘ寄セ
テ行クト云フ以外ニハ私ハ手ガナイト
思フ、此ノ農産物ノ價格ノ破行狀態
ガ、何時モ遲レテ行クト云フ所ニ農村

ノ困難性ガ伏在シテ居ルノデゴザイマ
シテ、他ノ物價ト釣合ヲ同時ニ取ツテ
行クト云フコトデナケレバイカスと思
フノデアリマス、此ノ前議安ノ價格ヲ
決定致シマシタ際ニモ、米價ヲ決メル
ト同時ニ、或ハ決メテ前御決メニナ
ツテハドウカト云フコトヲ御注意申上
ゲタノデアリマスガ、是モヤハリ米價
ガ先ニ決マリ、サウシテ肥料ガ後ニ、
而モ非常ニ澤山値上リマシタト云フ情
勢デアリマシテ、假令此ノ肥料ヲ使ヒ
マシテ出來タ生産物ハ値段ガ上ルニ致
シマシテモ、農村トシテハ安イ三三圓
ノ米ヲ賣ツテ、高イ肥料ヲ買付ケナケ
レバナラヌト云フヤウナソコニ矛盾ガ
出來ルノデアリマス、是等ニ對シテハ

此ノ價格ヲ正スルト同時ニ、肥料價
格其ノ他ノ決定ノ際ニハ、農産物ノ價
格ト併行シテ調整シテ行ク必要ガアル
デハナイカト思フノデアリマシテ、此
ノ點ニ對スル政府ノ今後ノ御考ヘニ對
シテ一應御伺ヒシタイト思フノデアリ
マス

○補見政府委員 先程價格ノ問題ニ付
テ申上ゲマシタコトハ、結局農産物ガ
凡ユル物ノ中心ニナツテ居リマス。ノ
デ、隨テ出來ルダケ惡循環ハ避ケナケ
レバナラナイデハナイカト云フコトヲ
申上ゲタノデアリマス、併シ現實ノ問
題ニ付キマシテハ、只今御述べニナリ
マシタヤウニ相當不均衡ガ出デマツテ居
ルノデアリマス、尤モ今御例示ニナリ
マシタヤウニ指數ノ變化ニ付キマシテ
スベキデハナイノデアリマシテ、是ハ
農林大臣ガ本會議デモ申上ゲマシタヤ
ウニ、ソレガ農産物ノ價格構成ノ上ニ於
キマシテ決メル割合ト云フモノヲ見ナ
ケレバナラヌコトハ、是ハ苦米地サン

御承知ノ通りナノデアリマス、併シ何
ト申シマシテモ現實ノ問題ハ不均衡ナ
點ガ出テ居ルト思フノデアリマシテ、
是ハ速急ニ我々トシマシテモ考慮ヲシ
ナケレバナラヌコトヲ考ヘテ居リマ
ス、同時ニ大キナ要素ノ變更ト云フヤ
ウナモノガ起ツテ參リマシタ場合ニ
ハ、ソレト同時ニ或ハ少クモサウ云
フ事柄ダケハ、同時ニ生産方面ニモ知
ラセルト云フコトハ是非今後ハヤツテ
參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○苦米地(義)委員 先般農林大臣ガ本
會議ニ於テ御話ニナリマシタ馬鈴薯及
ビ麥ノ價值ヲ調整スル爲ニ補償金ヲ出
ス、其ノ數ハ大體今ノ倍デアルカノ如
キ印象ヲ受ケタノデアリマスガ、若シ
米價モ完全ニ其ノ線ニ沿ツテ倍ニシテ
六百圓ニ致ストシテモ、ソレハ非常ニ
低過ギルノデアリマス、又六百圓ノ構
想デ御進ミニナツテ他ノ物價ハ段々上
ツテ來ルヤウニナリマス、又後ヲ追
掛ケテ供出ガ十分ニ行カナイ、農民ハ

不滿ヲ抱クト云フコトニナルデアラウ
ト思ヒマス、ソコデ先般農村ノ方々ニ
聽イテ見マス、三千圓位デナケレバ
思フヤウニ出ナイデアアラウト云フヤ
ウナ話モアル位デゴザイマス、是ハ併シ
他ノ物價トノ比例ヲ破ラナイ限リニ於
テ、餘リ米價ダカラト云ツテ特ニ抑ヘ
ルト云フコトハイカスと思ヒマス。カ
ラ、其ノ點ヲ十分御考慮願ヒタイト思
ヒマス、ソレカラ結局食糧問題ハ國內ノ
増産問題デゴザイマス。カ、國內デ以
テ食糧ノ自給政策ヲ執ル、サウ云フ農
業政策ヲ是カラ執ツテ行クカドウカト
云フコトガ基本問題ト思フ、從來日
本ノ食糧ハ國內ノ自給ガ出來ナイト云
フコトガ大キナ前提デ、農業政策ガ行
ハレタヤウニ思ヒマス、又國民モ土地

ガ狹ク、人ガ多イカラドウシテモ食糧
ノ自給ハ出來ナイノダト云フ常識ニモナ
クテ居ルヤウデゴザイマスガ、此ノ食
糧自給不可能ト云フ前提ガ、日本ノ農
業政策ヲシテ外地ニ伸バス、又滿洲ニ
伸バサシタ原因ダト思フ、此ノ大キナ
意味ノ農業政策ガ侵略主義者ノ乘ズル
所トナツテ、段々ニ今日ノ狀態ニマデ
推シ進ンデ行ツタヤウナ感ジモスルノ
デアリマス、ソコデ條件ノ惡イ東北地
方、或ハ北海道地方ノ開拓、或ハ農業
ノ生産力ノ増加等ニ對シマシテ十分ナ
ル努力ヲ拂ハレズニ、環境ノ好イ外地
及ビ滿洲ニ伸ビタト云フ所ニ私ハ缺點
ガアルト思フノデアリマス、今後我々

ハ國內デ以テ食糧ノ自給ハスルンダ、
必ズスルンダト云フ前提ヲ以テ、農業
政策ヲ立テルノガ本當ダト思フ、此ノ
點ニ對シテ農林當局ハ、現在此ノ日本
ノ環境ニ對シテドウ云フ風ニ御考ヘニ
ナツテ居リマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒマ
ス

○補見政府委員 食糧ノ問題ニ付キマ
シテハ、特ニ自給力ノ點ニ關シマシテ
ハ、私共ハ最大限度ニ此ノ自給力ヲ上
ゲル、出來得レバ自給可能ニマデ持ツ
テ行クト云フ方向ニ向ツテ努力ヲ致ス
ベキハ當然デアリマシテ、隨テ例ヘバ
只今御述べニナリマシタヤウニ、尙ホ
土地ノ開發或ハ改良ノ點ニ於テ改善ヲ
要スベキ方面ニ付キマシテハ、特ニ是
カラ力ヲ入レテ行カケレバナラヌコト
ハ當然デアリマス、唯問題ハ是カラノ
日本ノ産業ナリ、經濟ノ在リ方ヲ、一
體ドウ云フ風ニ考ヘテ行クカ、例ヘバ
總テノ者ガ農業ニ從事スル、是ハ極端
ナ話デアリマスガ、サウ云フヤウナコ
トデ行クベキデアルカ、或ハ又一面工
業國トシテ、平和裡ニ貿易關係ニ於テ

輸出ヲシ、又其ノ見返リトシテ適地適
作地帶カラ食糧ヲ得ルト云フヤウナコ
トモ、國全體ノ大キナ觀點カラ考ヘナ
ケレバナラス問題デアラウト存ズルノ
デアリマス、唯最初ニ申上ゲマシタヤ
ウニ、我々ト致シマシテハ、特ニ生産
面ヲ預カツテ居リマス農林省ト致シマ
シテハ、最大限度ニマデ此ノ自給力ヲ
上ゲル爲ニ努力シテ行カケレバナラ
ヌト云フヤウニ考ヘ、又現ニサウ云フ
方法デ以テ努力致シテ居ル譯デアリマ
ス

○苦米地(義)委員 日本ノ産業ハ「ボ
ツダム」宣言ニ依リマシテ制限ヲ受ケ
マシタ、隨テ貿易ヲ積極的ニヤルヤウ
ナ産業ハ撤去サレル、又制限ヲ受ケル
ト云フコトデアリマシテ、外部ニ輸出
産業ヲ大イニ振興シテ、其ノ資金ヲ以
テ必要ナ食糧其ノ他ノ輸入ヲ圖ルト云
フコトハ、當分ノ間望ミガナイト私ハ
思ヒマス、ソレ故ニ日本デ出來得ベキ
モノハ多少費用ガ掛リマシテモ、自給
政策ヲ執ルノガ本當デハナイカト私ハ
斯ウ思ヒマス、若シサウデナク、自由
貿易ノ立場ニナリマシテ、日本ノ農
村、或ハ農産物ヲ一般ノ市場ノ線ニ曝
サレマシタナラバ、私ハ日本ノ農産物
ノ生産價格ガ到底堪ヘ得レナイ所マ
デ行クト思ヒマス、隨テ日本ノ農業ハ
萎靡衰退スルト云フコトハ、論ヲ俟タ
ナイト思フ、ドウシテモ日本デハ國內
自給ヲ圖ルト云フ前提ト下ニ、凡ユル
施策ヲソレニ集中シテ、サウシテ土地
ノ生産力ヲ昂メ經營ハ科學性ヲ與
ヘ、サウシテ出來得ル限リノ量ノ増
加、價格ノ低下ヲ來スベキ方策ニ出テ
ケレバナラヌト私ハ思ヒマス、併シ一
面カラ言フト、食糧ハ自由ニ安イ物ヲ
海外カラ持ツテ來テサウシテ産業ヲ工

業國トシテ、平和裡ニ貿易關係ニ於テ
輸出入ヲシ、又其ノ見返リトシテ適地適
作地帶カラ食糧ヲ得ルト云フヤウナコ
トモ、國全體ノ大キナ觀點カラ考ヘナ
ケレバナラス問題デアラウト存ズルノ
デアリマス、唯最初ニ申上ゲマシタヤ
ウニ、我々ト致シマシテハ、特ニ生産
面ヲ預カツテ居リマス農林省ト致シマ
シテハ、最大限度ニマデ此ノ自給力ヲ
上ゲル爲ニ努力シテ行カケレバナラ
ヌト云フヤウニ考ヘ、又現ニサウ云フ
方法デ以テ努力致シテ居ル譯デアリマ
ス

○苦米地(義)委員 日本ノ産業ハ「ボ
ツダム」宣言ニ依リマシテ制限ヲ受ケ
マシタ、隨テ貿易ヲ積極的ニヤルヤウ
ナ産業ハ撤去サレル、又制限ヲ受ケル
ト云フコトデアリマシテ、外部ニ輸出
産業ヲ大イニ振興シテ、其ノ資金ヲ以
テ必要ナ食糧其ノ他ノ輸入ヲ圖ルト云
フコトハ、當分ノ間望ミガナイト私ハ
思ヒマス、ソレ故ニ日本デ出來得ベキ
モノハ多少費用ガ掛リマシテモ、自給
政策ヲ執ルノガ本當デハナイカト私ハ
斯ウ思ヒマス、若シサウデナク、自由
貿易ノ立場ニナリマシテ、日本ノ農
村、或ハ農産物ヲ一般ノ市場ノ線ニ曝
サレマシタナラバ、私ハ日本ノ農産物
ノ生産價格ガ到底堪ヘ得レナイ所マ
デ行クト思ヒマス、隨テ日本ノ農業ハ
萎靡衰退スルト云フコトハ、論ヲ俟タ
ナイト思フ、ドウシテモ日本デハ國內
自給ヲ圖ルト云フ前提ト下ニ、凡ユル
施策ヲソレニ集中シテ、サウシテ土地
ノ生産力ヲ昂メ經營ハ科學性ヲ與
ヘ、サウシテ出來得ル限リノ量ノ増
加、價格ノ低下ヲ來スベキ方策ニ出テ
ケレバナラヌト私ハ思ヒマス、併シ一
面カラ言フト、食糧ハ自由ニ安イ物ヲ
海外カラ持ツテ來テサウシテ産業ヲ工

業國トシテ、平和裡ニ貿易關係ニ於テ
輸出入ヲシ、又其ノ見返リトシテ適地適
作地帶カラ食糧ヲ得ルト云フヤウナコ
トモ、國全體ノ大キナ觀點カラ考ヘナ
ケレバナラス問題デアラウト存ズルノ
デアリマス、唯最初ニ申上ゲマシタヤ
ウニ、我々ト致シマシテハ、特ニ生産
面ヲ預カツテ居リマス農林省ト致シマ
シテハ、最大限度ニマデ此ノ自給力ヲ
上ゲル爲ニ努力シテ行カケレバナラ
ヌト云フヤウニ考ヘ、又現ニサウ云フ
方法デ以テ努力致シテ居ル譯デアリマ
ス

○苦米地(義)委員 日本ノ産業ハ「ボ
ツダム」宣言ニ依リマシテ制限ヲ受ケ
マシタ、隨テ貿易ヲ積極的ニヤルヤウ
ナ産業ハ撤去サレル、又制限ヲ受ケル
ト云フコトデアリマシテ、外部ニ輸出
産業ヲ大イニ振興シテ、其ノ資金ヲ以
テ必要ナ食糧其ノ他ノ輸入ヲ圖ルト云
フコトハ、當分ノ間望ミガナイト私ハ
思ヒマス、ソレ故ニ日本デ出來得ベキ
モノハ多少費用ガ掛リマシテモ、自給
政策ヲ執ルノガ本當デハナイカト私ハ
斯ウ思ヒマス、若シサウデナク、自由
貿易ノ立場ニナリマシテ、日本ノ農
村、或ハ農産物ヲ一般ノ市場ノ線ニ曝
サレマシタナラバ、私ハ日本ノ農産物
ノ生産價格ガ到底堪ヘ得レナイ所マ
デ行クト思ヒマス、隨テ日本ノ農業ハ
萎靡衰退スルト云フコトハ、論ヲ俟タ
ナイト思フ、ドウシテモ日本デハ國內
自給ヲ圖ルト云フ前提ト下ニ、凡ユル
施策ヲソレニ集中シテ、サウシテ土地
ノ生産力ヲ昂メ經營ハ科學性ヲ與
ヘ、サウシテ出來得ル限リノ量ノ増
加、價格ノ低下ヲ來スベキ方策ニ出テ
ケレバナラヌト私ハ思ヒマス、併シ一
面カラ言フト、食糧ハ自由ニ安イ物ヲ
海外カラ持ツテ來テサウシテ産業ヲ工

第六類第六號 食糧緊急措置令(承諾を求めた件)委員會議錄 第三回 昭和二十一年七月五日

ハレタヤウニ思ヒマス、又國民モ土地

業國トシテ、平和裡ニ貿易關係ニ於テ

輸出入ヲシ、又其ノ見返リトシテ適地適

作地帶カラ食糧ヲ得ルト云フヤウナコ

業的ニ振興スベキダ、斯ウ云フ議論モアルヤウデアリマス、私ハ此處ニ「パシフィック」トテ持ツテ居リマスガ、石橋藏相ガ述ベタ本デゴザイマシテ、

〔馬越委員長代理退席、委員長著席〕

是ハ食糧自給政策實施ノ必要、斯ウ云フコトヲ述ベテ居リマス、我國ハ總テノ食糧ヲ國內ノ自給スベキカト云フト、是モ宿論デアリマスガ、私ハ自給スベカラズト主張致シマス、一開條內ニハ斯ウ云フ持論ハアル方ガ居リマシテ、日本ノ食糧自給ト云フコトノ農業政策ハ、或ハソレニ依ツテ限マレルヤウナコトガアリハセスカト私ハ憂ヘルノデアリマス、併シ私ハドウシテモ食糧ノ自給ノイ國家ハ獨立性ヲ缺クトサヘ感ズルノデアリマスカラ、農林當局ハ飽クマデモ環境ノ惡イ所ヲ克服シテ、食糧増産ニ當ツテ熾キタイト私ハ思フ、ソレニ對シマシテハ東北、北海道ニマダ開拓ノ餘地ハ澤山アルノデアリマス、是等ノ環境ガ惡イ故ヲ以テ、今マデハ開拓サレテ居ツタト云フヤウナ事情デゴザイマス、此ノ邊ニ對スル積極的ナ施策ヲ政府ハ講ズベキダト私ハ思ヒマス、ノミナラズ産業道路、河川ノ修理、農道ノ増設、是等ニ依リマシテ物ノ生産ト云フモノハ遙カニ増進サレルノデゴザイマス、私ハ之ニ對シテ莫大ナ費用ガ掛ルト思ヒマスガ、幸ニモ今回財産稅ノ徵收ガゴザイマス、富ノ國家還元デゴザイマセウ、此ノ財産稅ハ國家ノ富ヲ再生産スルト云フ方面ニ活用スベキデアリマシテ、新聞ヲ傳ヘラレヤウナ國ノ歳出ニ之ヲ使フトカ、過去ノ負債ニ充當スルトカ云フヤウナコトデナシニ、國ノ富ヲ増スト云フ方ニ使ツテ行クノガ本當デ

ハナイカ、サウ致シマス其ノ事業ノ爲ニ勞力ガ要リマスカラ、失業救済ノ爲ニ六十億ヲ使フト云フコトデナシニ、國家ガ必要ナ富ノ施設ヲスルト云フコトカラ勞力ヲ必要トスル意味ニ於テ、今ノ失業問題ニ自ラ解消スルト思フノデアリマス、斯ウ云フ點ニ對スル農林當局ノ御考ヘハドウデゴザイマスカ

○補見政府委員 食糧ノ自給ノ點ニ付キマシテハ、先程申上ゲマシヌヤウニ、最大可能限度マデ之ヲ引上ゲテ行クト云フコトニ付キマシテハ、申上ゲマシタ通りデアリマス、唯此ノ問題ハ今申上ゲマシタヤウニ、全體ノ調和ト云フコトヲ考ヘテ參ラナケレバナラヌノデアリマシテ、議論ガ動モ致シマスト極端ニナリマシテ、例ヘバ桑ハ要ラズデヤナイカ、寧ろ桑ヲ全部引ツコ抜イテ食糧ニ轉換シテ、斯ウ云フヤウナ極端ナ議論マデ實ハ出テ來ルヤウナ狀態デアリマシテ、是等ノ點ハ特ニ調和、又將來ト云フコトヲ十分慎重ニ考慮シナケレバナラヌ問題デアルト存ズルノデアリマス、唯苦米地サレモ仰セニナリマシタ如ク、最大可能限度マデ是ハ上ゲテ行ク、特ニ其ノ場合ニ、是モ先程申上ゲマシタノデアリマスガ、從來取殘サレタ地帯、特ニ北海道ノヤウナ所ハ、是ハ私ガ申上ゲルマデモナク、明治初年ニ開拓使マデ出來マシテ、大々的ニ國家ノ事業トシテ之ヲ探上ゲタノデアリマスガ、ソレガ途中ニ於キマシテ、臺灣、朝鮮或ハ滿洲ニ目ガ向キ、或ハ現在ニ於キマシテハ南方ニ目ガ向キマシタ爲ニ、結局折角明治初年ニ最初ニ探上ゲタ此ノ開拓關係ガ今日マデ殘サレタ、併シ是ハ又必々様ニ依リマシテハ、今日此ノ事態ニ於

テ、其ノ未練ノ所ガ殘ツテ居ツタト云フコトハ、或ル意味ニ於テハ是ハ幸デアルトモ言ヘルノデアリマシテ、斯ウ云フ方面ニ付テハ今後特ニ力ヲ入レテ行カナケレバナラヌト云フ風ニ存ズルノデアリマス

財産稅ノ問題ニ付キマシテハ私詳細ニ存ジマセヌガ、假ニ之ヲ國家ノ支出ニ充當スルト云フ場合ニナリマシテモ、此ノ國家ノ支出ハ現在ノ情勢ノ下ニ於キマシテハ、再生産ニ向ケラレル支出ガ多イノデアリマス、結局國家再建ノ爲ノ再生産的ノ支出ニ向ケラレルノデアリマスカラ、當然サウ云フ場合ニハ今ノヤウナ方向ニ行クモノト思フノデアリマス、特ニ失業救済ノ豫算、大キナ六十億ノ豫算モ實ハ大部分ト云フモノガ再生産事業デアリ、更ニ其ノ主要ナル部分ハ農業關係ニ向ケラレル、斯ウ云フヤウナ情勢ニナツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、私共トシマシテハ十分是等ノ點ハ主張致シタイト考ヘテ居リマス

○苦米地(養)委員 食糧自給政策ヲ農業政策ノ基本ニスルカドウカト云フコトハ、重大ナル問題ト私ハ考ヘマスノデ、是ハ農林大臣カラ適當ナ機會ニ御答ヘヲ願ヒタイト思ヒマス

モウツハ食糧ノ自給ノ爲ニハ、日本人ノ食生活ヲ改革スル必要ガアルト私ハ思ヒマス、今マデノヤウニ白米ヲ常用致シマスレバ、水田ハ最早是レ以上擴張スルコトハ出來マセヌカラ、結局日本デハ食糧自給不可能ト云フコトニ陥ルノデアリマスガ、若シ日本人ノ食生活ヲ改革致シマシテ、一回ハ「パン」食ニスルトカ、或ハ白米ニ雜穀ヲ加ヘルノガ營養的ニモ宜イシ、又日本人ノ常食トシテ味ノアルト云フヤウナ、

科學的ナ研究ヲ致シマシテ、サウシテサウ云フ食糧ヲ日本人ノ基本食ダト云フ風ニ致シマスレバ、其處カラ農業生産ノ大キナ方針ガ生レテ來ルト思フノデアリマシテ、將來畑作ノ開拓餘地ガ非常ニ澤山ゴザイマスハト相呼應シテ、食糧自給ノ政策ニハ貢獻スルダラウト思ヒマス、ソレ故ニ之ヲ唯放任セズニ、政府ハ適當ナル食生活ノ改善委員會ト云フヤウナ種類ノモノデモ作ツテ、サウシテ我ガ國民ノ食生活ニ對スル基本的研究ヲナサレル御意思ハゴザイマセヌカ、此ノ點ヲ一ツ御伺ヒ致シマス

○補見政府委員 御答ヘ申上ゲマス、今後ノ食糧供給狀況、特ニ只今御話ニナリマシタヤウナ自給力ヲ最大限度マデ上ゲテ行クト云フヤウナ觀點カラ申シマス、結局從來ノ食生活ニ付テハ相當改善ヲシ、場合ニ依リマシテハ改テ云フヤウナ言葉ヲ使ハナケレバナラヌ程、結局ニ於テハ變ヘタ形ニナラザルヲ得ナイト思フノデアリマス、此ノコトハ又一面カラ申シマス、是カラノ農業生産ノ上ニ於ケル適地適作ト云フヤウナコトカラ申シマシテモ、當然デアアル譯デアリマス、結局此ノ食生活ハ穀類、蛋白質、脂肪、斯ウ云フヤウナ三要素ヲ取混ゼタ營養的ナ觀點、又「カロリー」的ナ觀點カラ改善ヲシテ行カナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、隨テ只今御質問ニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、政府ト致シマシテ十分考慮ヲシテ參リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○苦米地(養)委員 私ハ最後ノ問題ト致シマシテ肥料問題ニ付テ伺ヒタイノデアリマス、總テノ問題ハ食糧ノ増産ニアル、食糧増産ハ肥料ノ供給ニ

アリ、肥料ナケレバ農業ナシト云フ諺ガゴザイマスガ、我ガ國情デハ全く其ノ通りデアリマシテ、本當ニ總テノ農産物ハ肥料ノ變形ダト云ツテ私ハ差支スナイト思フノデアリマス、昨年ノヤウナ大凶作ノ時デアリマシテモ、若シ肥料ガアツタトスレバドレ位優レタカ、私ハ青森縣ノ農事試験場ニ依頼シテ、昨年ノ配給肥料ト、ソレカラ肥料ガ十分ニアツタ時ノ耕作法ヲ併行シテ試験シタノデアリマスガ、米ニ於テハ二五%、麥ニ於テ二一%、馬鈴薯ニ於テ四三%ノ差ガ起ルノデアリマス、肥料サヘアレバ是ダケ増加致スノデアリマシテ、先般農林大臣ガ本會議デ説明サレマシタヤウニ、去年ノ米作ハ二割七分減少シタト云フコトデゴザイマスケレドモ、若シ肥料サヘアレバ、是等ノ増産ニ依リマシテ大體解決スルコトガ出來タヤウニモ思フノデアリマス、所ガ四年ノ肥料配給量ト云フモノハ昭和十三年ニ比較致シマス、自給肥料ヲ除キマシテ、所謂販賣肥料ガ六百萬「トン」アリマシタノガ、昨年度ハ僅カニ六十九萬「トン」即チ一割一分五厘シカ供給サレナカツタノデアリマス、之ヲ窒素肥料ニ計算致シマス、所謂豆粕トカ魚肥ト云フヤウナ種類ノモノヲ加ヘマシテモ、僅カニ二一・四%、硫酸肥料ノ如キハ四・二%、加里肥料ハ五・三%、斯ウ云フ狀態ニ陷ツテ居ルノデアリマスカラ、如何ニ政府ガ希望のナ割當ヲ致シ増産ヲ希望致シ、又農民ニ源ガ出ル程働イテ貰ツテモ、到底是ハ實現スル譯ガナイノデアリマス、此ノ肥料ノ増産ニ對シテ政府ハ一日モ早ク全力ヲ盡シテ是ガ解決ニ當ルベキデアツタト思ヒマス、又一面ニ於キマシテハ自給肥料ガ非常ニ大事ナ

モノデゴザイマスガ、地方へ参リマシテ一般ノ事情ヲ見マス、既肥デモ堆肥デモ、堆肥盤ガアル所ガナイ、堆肥小屋ノアル所ガ少イト云フコトデ、是ダケ大事ナ肥料ガ空シク失ハレツ、アルト云フ現状ガ見ラレノデアリマス、是ハ農家ニ科學性ガナイ、肥料常識ガナイト云ハレマデデアリマスガ、政府ガ之ヲ此ノ儘見送ツテ居ルト云フ手ハ私ハナイト思フノデアリマス、又東北、北海道方面ニ於キマシテハ折角立派ナ既肥ガアリマスノ、雪ノ上ニ澤山積ンデ置ク、春先ニナレバ道路ガ不便デアリマスカラ、雪ノ上ヲ掘デ以テ田ノ上ニ運ンデ行ク、サウシテ折角ノ肥料分ヲ水ニ流シテシマツテ、殆ダケ田ニ注ガムト云フ状態デゴザイマス、是等ハ農業技術ノ面カラ申シマシテモ、國家ノ經濟ノ面カラ申シマシテモ、ドウシテモ此ノ儘放置シテハナラヌト私ハ思フノデアリマシテ、之ニ對シテ政府ハ何カ御考ヘニナツテ居リマセウカ、從來俵カバカリノ補助金ヲ出シテ居リマスガ、ソナナ程度デハイカヌト思ヒマス、ドウシテモ積極的ニ必ズ各農家ニ堆肥小屋ト灰小屋ハ作ラセルト云フ所マデ施設ヲ進メテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ點ニ對シテ今御考ヘニナツテ居ル點ガゴザイマセウカ、一應此ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

ヤウニ從來數千萬圓ノ金ヲ此ノ所毎年出シテ居ルノデアリマスガ、最近ニ於キマシテモ同様、自給肥料ノ増産ハ、一面化學肥料ノ不足ヲ補ヒマス爲ニハドウシテモ必要デアリマスノデ、從來ト同様ノ數千萬圓ノ金額ヲ此ノ方面ニ注ガムデ参リタイト存ジテ居ルノデアリマス、唯此ノ自給肥料ノ増産ノ中デ、例ヘバ堆肥盤ト云フヤウナモノニナツテ参リマスルト、「セメント」ヲ多量ニ要シマスルガ、御承知ノヤウナ「セメント」事情デアリマスノデ、結局是ハ出來ナイコト、又無理ナコトヲ獎勵方策トシテ探上ゲマシテモ、實效ヲ擧ゲ得ズ、却テ非難ヲ受ケルバカリデアリマスノデ、サウ云フコトデナイ方法ヲ以テ自給肥料ノ増産ヲ獎勵シテ参リタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○芝米地(義)委員 只今ノ御答ノ中デ「セメント」ガ窮屈ダカラ出來ナイト云フ風ニモ伺ハレマスケレドモ、是ハ日本ノ國デ一番原料ガアツテ、一番出來易イモノハヤハリ「セメント」ダト思ヒマス、石炭ノ隘路ハアリマスケレドモ、肥料ガ重點的ニ絕對ニ必要ダトナレバ、其ノ點ハ間ニ合ハセルトガ出來ルト思ヒマス、ソレ故ニ、唯金ヲヤツテ各農村デヤレト云ツテモ中々出來マセスカラ、アンナモノハ獨立小屋デモ出來ルトデモアリマスカラ、各農家ノ設備ヲ農業會ナリ、或ハ適當ナリ請負者ニ任セテ、サウシテ之ヲ積極的ニヤルト云ヘバ實現ガ可能ダト思ヒマス、左様ナ點ニ付キマシテ御考慮置キテ願ヒタイト思ヒマス、何ト申シマシテモ肥料ノ問題ハ、滿洲カラ從來多量ノ大豆粕ヲ輸入シテ居リマシタノガ止リマスシ、魚肥ハ鱈ノ不漁ニ依リマシ

テ大量ノ期待ハ出來マセシ、結局ハ化學肥料ノ増産供給ニ依ルハナイト思フノデアリマス、隨テ化學肥料工業ノ復興促進ト云フコトガ、現在ノ問題トシテ最も急務デアリ、最も重大ナ問題ダト私ハ思ヒマス、先刻モ肥料全體ニ對シテハ山上ゲマシタガ、今ノ生産ノ状態ハ、之ヲ昭和十三年ニ比ベマス、斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、硫酸ノ生産高ハ十三年度ニ於キマシテハ百十五萬五千「トン」、ソレガ昨年度ハ僅カニ三十萬三千「トン」、本年ノ現狀トシマシテハ、五月ノ製造ハ四萬一千九百二十七「トン」、コ、マデハ回復シテ居リマスガ、昨年度ハサウ云フ少イ數字デアリマス、石灰窒素ハ十三年度ガ十四萬八千「トン」、二十年度ハ八萬五千「トン」、現在即チ五月ハ一萬四千七百八十三「トン」、過燐酸石灰ノ如キハ、十三年度ハ百十四萬五千「トン」、然レニ二十年度ハ僅カニ四萬八千「トン」、五月ハ九千四百三十四「トン」、斯ウ云フ状態デゴザイマス、此ノ中ノ硫酸ノ激減致シマシタノハ、戰災ニ依リマシテ硫酸工場ガ非常ハ被害ヲ受ケテ居ル爲デアルトハ御承知ノ通りデアリマス、現ニ昨年ノ終戰當時、即チ八月ノ生産ノ如キハ、僅カニ全國總計デ、四千七百五十「トン」ト云フ僅少ナ量デゴザイマシテ、而モ其ノ上日産化學ノ富山工場ガ三千五百「トン」、造ツテ居リマスカラ、他ノ全工場デ僅カニ二千二百五十「トン」シカ造ツテ居ラナカッタ、是ハ全く全減ニ漸シタコトヲ物語ルモノデゴザイマス、幸ニ政府當局ノ御盡力モアリ、當業者ノ努力モアリマシテ、漸ク本月ハ五萬「トン」程度ニマデ回復致シタノデアリマスガ、是ハドウシテモ昭和十

三年ノ百十五萬五千「トン」ト云フ數量マデハ、一日モ早く回復スル必要ガアルノデアリマス、即チ現在五萬「トン」デアリマスカラ、之ヲ少クトモ早く倍ニスルト云フコトデナケレバナラヌト思フ、ノミナラズ先程申上ゲマシタ油粕問題、昭和十三年ガ百七十萬三千「トン」アリマシタノ、昨年ハ二十四萬五千「トン」シカナイ、此ノ有機質肥料ハ先刻申上ゲマシタヤウニ供給ガ困難ダト云フ以上ハ、硫酸、石灰窒素ノ數量ヲモツト殖ヤシテ、此ノ減少ヲ「カバリー」サセナケレバナラヌト云フ状態デゴザイマス、ソレナラハ五萬「トン」以上ノ回復ハ一體何時マデニ回復スルノカト云フコトガ問題デアラウト思フ、農村ハ一日モ早くコトヲ望ンデ居ル、此ノ一日モ早ク少クトモ元ヘ返スト云フコトニ對スル政府ノ努力ハ多ト致シマスガ、私ハマダ遺憾ナガラ其ノ積極性ニ於テ足リナイモノデアリハシナイカト思フ、私ノ工場デモ既ニ増産計畫ヲ立テテ居リマスガ、資材ノ面デモ、資金ノ面デモ、既ニ半年遅レテ居ル、此ノ遅レル理由ハソレデヤ何處ニアルカト云フコトヲ考ヘテ見マス、一ツハ、資材ガナイ、銘々ノ努力ニ依ツテハ得ラレナイ、物動割當ヲ受ケルノハ少イト云フコトニナツテ居リマスガ、若シ農林大臣ガ本會議ニ於テ聲明サレタヤウニ、肥料問題ニ對シテハ國家管理ヲ斷行スルノダト云フ御話デアリマシタガ、一日モ早く之ヲ斷行シテ、サウシテ銘々ノ會社デハ出來得ナイコトヲ、政府ノ力ヲ以テ強力ニ之ヲ推進スルト云フコトニ依ツテ、私ハ促進スルコトガ可能ダト思フ、ナゼナラバ、現在政府ノ所管ニナツテ居ル陸海軍ノ燃料廠、及ビ產業設備營園ノ所管スル遊休工場、其ノ他民間ニ於キマシテモ、色色ナ工場ヘ持ツテ行ツテ、其ノ儘利用ノ出來ル機械器具及ビ資材ガアルノデアリマス、自由ニ得ルコトハ出來マセヌケレドモ、政府ノ力ヲ以テスレバ、左様ナ機械ハ一方カラ一方ヘ移スト云フコトハ、左程困難デハナイノデアリマス、隨テ私ハ資材ノ問題デ隘路ガアルト云フコトヲ、高ク言フコトハ間違ヒデヤナイカト思ヒマス

其ノ次ハ資金ノ問題デアリマス、現在物價ガ非常ニ高クナツテ居リマシテ、昨年私共ガ計畫ヲ致シマシタ其ノ單價ノ三倍位ニナツテ居リマス、隨テ一日遅レ、バ遅レル程高クナルト、現在食糧ニ於キマシテハ新圓ノ制限ヲ受ケテ居リマシテ、注文スルノモノモ受手ガナイト云フヤウナ状態デ、是モヤハリ資金面ノ制限カラ遅レテ居ル事情デゴザイマス、ナゼ此ノ必要ナ肥料ノ資金ニ對シテ、金ノ融通ガソナニ一體長引クノカト云フコトハ、是ハ事實問題トシテ御考ヘテ願ヒタイト思ヒマス、一ツノ面ハ斯ウ云フコトデアリマス、銀行ノ「シンジケート」ガ出來テ社價ニ依ツテ融通スル、斯ウ申シマス、併シ先程申上ゲマシタヤウニ、物價ガ非常ニ暴騰致シテ居リマスカラ、巨額ノ資金ガ要リマス、ソレ故ニ從來ノ拂込資本ニ對スル二倍ノ社價デハ到底賄ヒ切レナイ、セメテ五倍ノ社價ガ出來得ルヤウナ處置ヲ執ツテ戴カナケレバ、實際問題トシテハ出來ナイノデス、又社價ノ發行限度ニ於テ不可能ナ狀態デアリマスレバ、一時資金ヲ貸付ケテモ宜イト思フノデアリマス、所ガ銀行ノ面カラ申シマスレバ、普通ノ市中銀行デハ、最近ノ金融ノ状態カラ

申シマス、預金ガ餘リナイ、預金ガ餘リナイカラソレ程大キナ巨額ノ融資ヲ云フモノハ出来ニクイト云フ點ガ一ツ、ソレカラソレナ巨額ノ投資ヲシマシテ肥料價格ト云フモノハ、ソレニ依ッテ多額ナル値段ヲ維持サレデアラウカドウカ、回收サレデアラウカドウカト云フヤウナ企業ノ嫌疑ヲ持ツテ居ルノデアリマス、營業者ト致シマシテ、一方ハ一種ノ企業「サボ」ニナリ、一方ハ金融面カラ金融「サボ」ニナルト云フヤウナコトガ、現實ノ上ニ於テアルノデアリマス、ソレデハ金ノアルノハ一體ドコニアルノカト申シマスレバ、農林中央金庫ニアル、之ニハ相當ノ金ガアルト云フコトデアリマスガ、工業ニ長期ノ貸付ヲスルトカ、投資ヲスルトカト云フコトハ、アノ法律ニ依ッテハ從來出来ナカッタ、今回提案サレテ居リマス改正法案ガ通過致シマスレバ、可能デゴザイマセウガ、今マデハソレハ出来ナカッタ、而シテソレニ代リテハ處置ヲ當局ガ執ラナカッタト云フコトガ、私ハ肥料復興増産ニ對スル非常ニ大キナ隘路デアリ、當局ノ責任デアルト私ハ思ヒマス、ドウシテモ是ハ國家管理ヲ斷行シテ、從來同業者ノ製造業組合ノ自治的統制ノ私ハ行詰リト思ヒマス、國家管理ニ依ッテ之ヲ打開シテ、能率ノ擧ゲナイ工場ニ對シテハドウスル、或ハ組合外ニアル機械、資材ハ之ヲドコニ持ッテ來ルト云フヤウナコトヲ、政府ノ力ニ依ッテヤリマスレバ、必ズヤ増産ハ促進サレルト私ハ思フノデアリマス、之ヲ斷行シテ戴キタイト思フシ、又早ク斷行スル御意思ガアルカドウカ、一度御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 肥料工業ノ復興並ニ今後ノ増産ノ點ニ付キマシテ、段々ト御話ヲ承ツタノデアリマスガ、實ハ私共モ豫テ今御述ベニナリマシタヤウナ點ニ付キマシテハ、關係ノ各方面カラ聞カサレテ居リマス、又輾轉モ受ケテ參ッタノデアリマス、ソレデ御尋ネノ肥料ノ國家管理ノ問題デアリマスガ、農林省ト致シマシテハ、一應一ツノ私案ヲ作りマシテ、此ノ私案ヲ基礎ニ致シマシテ、關係ノ各方面ト現在色色御相談ヲシテ居ルヤウナ狀態デゴザイマス、出來ルダケ速カニ此ノ問題ノ解決ニ努メタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○成島委員長 苦米地君一寸御聽キシマスガ、質問ハマダ長イデスカ

○苦米地(義)委員 イヤ是デオ終ヒデス、只今ノ御答ヘハ少シ満足シ兼ねルノデアリマスガ、肥料ノ今ノ需要ハ其ノ程度デヤナイト私ハ思フノデアリマス、ヤルナラバ直ッテヤラナケレバいかスト思フ、營業者ト致シマシテモ、私ガ現ニ計畫ヲ持ッテ自分デヤツテ居リマスガ、齒痒クテ仕樣ガナイ、ドウシテ是デ農村ニ對シテ我々ハ面ヲ向ケルコトガ出來ルノダ、不可能ナコトナラズモ角デアリマスガ、可能ナンデス、政府ハ一ツ勇氣ヲ奮ツテ壯ヲ持ッテヤレバ、私ハ可能ダと思フ、此ノ點ヲ一ツ御考ヘ下サイマシテ、是カラ研究スル力ヲ調査スル力ヲ云フコトデナシニ、直ッテ斷行シテ戴キコトヲ私ハ希望スルノデアリマス

ソレカラ復興ノ工場ト轉換ノ工場トゴザイマス、戰災ヲ受ケテ可ナリ大キナ被害ヲ受ケテ居ル工場ガ澤山ゴザイマスガ、比較的此儘デモ使ヒ得ラレルヤウナ轉換工場ガ、是レ亦相當ゴザイ

マス、所ガ轉換工場ハ後廻シニシテ、復興工場ニ全力ヲ注グト云フコトノ爲ニ、復興工場ノ方ハ遅レルノニ、或ハ轉換工場ガ早く出來ルノニ、單純ニ唯復興工場ヲ優先スルト云フ意味カラシマシテ、此ノ一日モ爭フ増産ノ狀態ヲ、サウ云フ順位ニ依ッテ狂ハサレテ居ルヤウナ事情モアルカノヤウニ思ヒマス、是ハ一マダ「カサリ」司令部ノ方ノ關係モゴザイマヒウガ、早く供給スルト云フコトガ眼目デアリマスレバ、轉換工場デモ容易ニ生産ガ出來ルト云フモノヲ交渉致シマシテ、其ノ實現ヲ期シテ戴クノガ本當ダと思フノデアリマス、所ガ是モヤハリ、ドウモ悪口ニナルカモ知レマセウガ、轉換工場或ハ復興工場ノ調査等ニ對シマシテ、商工省ハ商工省ノ方ガ行ッテ御調べニナル、農林省ハ農林省ノ特別ナ機構ヲ以テ又御調べニナルト云フコトデ、統一ヲ缺イテ居ル、サウシテ迷惑ヲスル者ハ當業者バカリ、時間ガ掛ル、サウシテサウ云フ雙方ノ機構ノ手ヲ通ラナケレバ、資材モ資金モ入ラナイト云フ仕組デゴザイマス、洵ニ困ル、何トカ是ハ行政方面モ一元的ニ強化シテ、サウ云フ二様ノ手續ヲ調査ラセズニ、一本ニシテ早クシテ増産ノ可能デアリヤウニシテ戴キタイト思フノデアリマス、肥料行政ノ一元化ト云フコトハ、近來非常ニ叫ビテ居ルノデアリマスガ、是モ何時デモ時ヲ待タナイト私ハ思ヒマス、是等ニ對スル商工省トノ間ニ、何カ御話合ヒデモ進行之テ居リマセウカ、ドウデヒウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○補見政府委員 肥料行政一元化ノ問題モ含ミマシテ、肥料ノ國家管理ノ問題ニ付キマシテハ、先程私ガ申上デマ

シタ點ガ、或ハ言葉ガ足りナカッタカモ分リマセウガ、私ノ申上デマシタノハ、オ叱リヲ受ケマシタヤウナコトデアリマスガ、調査ヲスルトカ何トカ云フノデナクテ、現ニ一ツノ案ヲ作りマシテ、ソレヲ御承知ノヤウニ、肥料ノ問題ニ付キマシテハ色々各方面ニ折衝ヲシナケレバナラヌ問題ガアリマスノデ、之ヲ農林省トシテハ此ノ度出シテ居ルノデアリマス、申上ゲルマデモナク肥料問題ニ付キマシテハ最も關心ヲ持チ、又最も此ノ點ニ付テ熱意ヲ有シテ居リマス、是ハ農民ノ觀點ニ立ッテ居ル農林省デアリマス、隨テ農林省ト致シマシテハ、此ノ觀點カラ從來モ肥料ノ問題ニ付テハ努力ヲシテ居ッタノデアリマス、轉換工場ニ付テノ御話ハ尤モナコトデゴザイマシテ、結局資材ナリ、其ノ他ノ生産復興ノ場合ニ、最も効果的ニ之ヲ使ッテ行ケト云フコトハ、是ハ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、只今御述ベニナリマシタ轉換工場ノ順位ノ問題ニ付テハ、十分御趣旨ハ承ツテ置キタイト存ズルノデアリマス、尙ホ資金ノ問題ニ付テモ、先程御話ガゴザイマシタヤウニ、社債限度ノ問題其ノ他ハ、此ノ國家管理ノ案ノ中ニ於テ處理シタイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、差當リノ緊急資金ノ問題ハ、資金法ヲ現在改正法律トシテ提出致シマシテ、貴族院デ本日可決ヲ見、衆議院ノ方ニ追ッテ廻ル譯デアリマス、隨テ此ノ委員會ニ於テ出來ルダケ早く御可決ヲ願ヒマシテ、資金ガ動クヤウニ御盡力ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス

○苦米地(義)委員 是非御願ヒシタイト思ヒマス、當局ノ熱意ハ非常ニアルト思ヒマスガ、唯實行ガ遅イノデス、

唯實行ノ件ヲヤウナ熱意ヲ以テ大ニ奮起シテ戴キタイト思ヒマス

ソレカラ過燐酸肥料デゴザイマスガ、先程森委員カラ御話ノアリマシタヤウニ、燐酸肥料ノ缺乏ハ實際極端ニナツテ居リマス、ソコデ、關東以北地帶「クロボク」地帯ハ、特ニ此ノ燐酸ガ必要デアリマシテ、遺憾ナガラ日本ニハ其ノ原料ガゴザイマセウ、悉ク是ハ聯合國側カラ輸入ヲ仰ガナケレバナラヌノデゴザイマスガ、此ノ點ニ對シテハ政府御當局ニモ熱心ニ御盡力ヲ戴キタイト思ヒマス、今マデ入ッテ來マシタモノハ僅カニ「トン」シカアリマセウ、而モ其ノ二萬「トン」ノ六割ハ北大東島ノ燐酸デアリマシテ、燐酸石ト稱スルモノデハナイ、是ハ同ジ鐵送ヲ致シ、同ジ金ヲ拂フノデアリマスカラ、ドウカ本當ノ燐酸石——此ノ頃新開デ見マス、「ガフサ」燐酸ガ來ルヤウデアリマスガ、ア、云フ風ナモノ、或ハ「フロリダ」デアルトカ、大洋島方面ニゴザイマスヤウナ優良ナル燐酸石ヲ、少クトモ八十萬「トン」程度ノモノハ入レルコトヲ特ニ懇請シテ貰ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、之ニ對シテ何カ今マデ執ツテ居ル御方針、及ビ聯合國側ノ之ニ對スル態度ヲ伺ヒタイト思ヒマス

次ハ加里肥料デアリマスガ、是モ芋類トカ、果樹ノ肥料トシテハ絕對必要ナモノデアツテ、芋ノ増産ヲ圖ルナラバ加里肥料ガナケレバいかス、從來二十萬「トン」乃至二十五萬「トン」ノ輸入ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ、是モ亦日本ノ國內デハ餘リ出マセウカラ、何トシテモ或ル程度ノ輸入ヲ仰ガナケレバナラヌト思フノデアリマス、唯私ハ此處ニ政府御當局ニ御研究ヲ願

ヒタイト思ヒマスコトハ、加里ヲ含シ
デ居リマス加里長石或ハ海綠石ト云フ
ヤウナ資源ガ、相當豐當ニ日本國內ニ
ゴザイマス、マダ經濟的ニ利用ノ域ニ
ハ達シテ居リマセヌガ、斯ウ云フモノ
コソ本當ニ國ノ力ヲ擧ゲテ研究スルコ
トガ必要デナイカト私ハ思ヒマス、差
向ハ二十萬「トン」以上輸入シテ居ル
モノデアリマスケレドモ、少クトモ是
モ十萬「トン」位ハ輸入ニ仰ガナケレ
バ、日本ノ農產物ノ生産ニナラスト私
ハ思ヒマス、磷酸石ト同ジヤウニ此ノ
點ニ付テノ政府ノ御盡力ヲ願ヒタイ
思ヒマス、兎ニ角斯ウ云フ風ニナリマ
シタガ、政府ノ方針ガ化學肥料ニ重點
ヲ置ケ限リ、一體今後ドレ位ノ目標ニ
考ヘテ居リマセウカ、日本ノ國內生産
ヲドノ程度ニスレバ宜イカト云フ御方
針ガアリマセウカ、其ノ點モ伺ヒタイ
ト思ヒマス、兎モ角前ジ詰メテ參リマ
スレバ、供出ノ問題或ハ強權デ犯罪者
ヲ出スト云フヤウナ問題モ、總テ食糧
ノ増産デアリマス、食糧ノ増産ハ肥料
ノ増産ニアルノデアリマスカラ、ドウ
カ先刻來申上ゲマシタヤウニ、一日モ
早ク強權ヲ發動シテ、ソレコソ適當ナ
ル施策ヲ講ジテ戴キタイト思フノデア
リマス、今ノ化學肥料ノ全體ノ目標數
量等ニ付キマシテ御答ヘヲ願ヘレバ、
私ノ質問ノ要旨ハ終リマス

○補見政府委員 化學肥料ノ生産ノ見
透シデアリマスガ、大體戰前ニ於キマ
スル肥料消費量マデハ、何トシテモ持
ツテ參リタイ、尤モ戰前ニ於キマシテ
ハ、或ハ一部カラハ、少シ日本ハ肥料
ヲ使ヒ過ギルト云フヤウナ議論モアツ
タコトモアルノデアリマスガ、兎ニ角
戰前ノ數量マデ持ツテ行ク、サウシマ
スト、窒素肥料ニ付テハ私ヨリモ苦米
地サノ方ガ餘程許シイノデアリマス
ガ、大體窒素肥料ハ二百萬「トン」、
此ノ二百萬「トン」ノ中ニハ是モ御述
ベニナリマシタヤウニ、大豆粕デアリ
マスとか、魚粕ト云フヤウナ有機質モ
入ッテ居ツタノデアリマスガ、兎ニ角
之ヲ今後ノ食糧事情等カラノ見透シカ
ラ申シマシテモ、出來ルダケ此ノ化學
肥料デ以テヤツテ行ク、ソコデ生産目
標ト致シマシテハ、從來ノ既耕地ニ付
テハ二百萬「トン」ソレカラ開拓地ガ
殖エテ參リマスノデ、サウ云フモノヲ
合セマシテ、二百二十七萬「トン」、
斯ウ云フコトヲ目標ニ致シテ居ルノデ
アリマス、差當リノ明肥料年度、即チ
本年ノ八月カラ來年ノ七月マデノ肥料
年度ニ於キマシテハ、是モ具體的ニ各
工場デ御立チヲ願ヒマス生産計畫デ申
シマスルト、現在司令部カラ許可ヲ受
ケテ居リマス工場ダケ申シマスレ
バ、窒素、硫酸、石灰窒素、合計致シ
マシテ百萬「トン」餘ニ過ギナイノデ
アリマス、結局明年肥料年度ニ於テ是
ガ目標ノ達成ニ努メル、斯ウ云フコト
ニナラウカト思フノデアリマスガ、同
時ニ此ノ許可工場ノミデハ必ズシモ十
分デナイノデ、轉換工場ニ付テ未許可
ノモノガ相當尙ホ殘ツテ居ルノデアリ
マスガ、是等ノ未許可ノ工場ノ轉換ニ
付テハ、特ニ實情ヲ詳シク司令部ニモ
申上ゲマシテ、一日モ速カニ是ガ許可
ヲ受ケ得マシヤウニ努力致シタイト考
ヘテ居ルノデアリマス、過磷酸ノ問題
ニ付キマシテハ、是モ御述ベニナリマ
シタヤウニ、當初カラ八十萬「トン」
ノ磷酸石ノ輸入ヲ申請シテ居リマシ
タ、是デ參リマス大體倍ノ過磷酸石
灰ガ出來ル譯デアリマスカラ、此ノ消
費量ヲ以テ致シマスレバ、戰前ノ通り

ノ需要ヲ賄ヒ得ル譯デアリマス、唯
磷酸石ノ輸入先ニ付キマシテハ、是モ
御述ベニナリマシタヤウニ「ラサ」ト
カ、北大東島ト云フヤウナ所ダケハ
勿論十分デアリマシテ、佛印、「アフ
リカ」「フロリダ」ト云フヤウナ所カ
ラノ輸入モ仰ギタイト存ジテ居ルノデ
アリマス、事柄ガ輸入關係デアリマス
ノデ只今正確ナコトハ申上ゲラレナイ
ノデチリマスガ、唯申上ゲラレコト
ハ、先程森サノ御質問ニ對シマシテ
御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、聯合軍ト
シテハ食糧ト同様ニ、場合ニ依リマシ
テハソレ以上ニ肥料ノ問題ニ付テハ極
メテ重大ナ關心ヲ持チ又厚意ヲ持ツテ
考慮シテ戴イテ居ルト云フコトダケヲ
申上ゲテ置キタイト思フノデアリマ
ス、加里肥料ニ付キマシテモ、御質問
ノ點ハ全ク同感デアリマシテ、政府ト
致シマシテハ十分他ノ肥料ト同様ニ、
此ノ問題ニ付テハ努力ヲシテ參リタイ
ト、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス
○成島委員長 是デ休憩シマシテ、午
後一時半カラ再開致シマス
午後零時三十二分休憩
午後一時三十六分開議
○成島委員長 開會致シマス、本日午
後ハ本會議ニ食糧危機突破ニ關スル
會合ガアリマスカラ、都合上本日ハ是
デ散會致シマス
午後一時三十七分散會

(參照)
廣川委員要求資料
一、主食ヲ原料トスル味噌製造家ノ
手持原料並ニ今後配給可能量及既
製仕込量
一、醬油醃造家ノ手持原料、仕込量
及今後配給見込量
一、農村ニ於ケル自家製造ノ味噌醬
油貯藏量

昭和二十一年八月一日印刷

昭和二十一年八月二日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局